

Discussion Paper Series

Center for Social and Environmental Systems Research, NIES

No. 2015-01

新地町立尚英中学校ワークショップ
「2050年の新地町の未来地図をつくろう！」
報告書

岩渕裕子 中村省吾 増井利彦 高橋敬子 森保文 五味馨 芦名秀一
戸川卓哉 永野亜紀 大場真 白木裕斗 有賀敏典 田邊千英

国立研究開発法人 国立環境研究所 社会環境システム研究センター

2015 12月



本ディスカッションペーパーシリーズは、国立研究開発法人国立環境研究所の研究者および外部研究協力者によって行われた研究成果をとりまとめたものです。関係する方々から幅広く意見やコメントを得るための場として公開しています。

論文は、すべて研究者個人の責任で執筆されており、国立研究開発法人国立環境研究所の見解を示すものではありません。

新地町尚英中学校ワークショップ

「2050年の新地町の未来地図をつくろう！」

報告書

独立行政法人 国立環境研究所 社会環境システム研究センター※

新地町復興応援隊（NPO 法人みらいと）

株式会社 協和コンサルタンツ

2015年3月

※2015年3月当時。2015年4月現在、国立研究開発法人国立環境研究所に改組。



目次

1. 背景と目的	1
2. ワークショップの概要	3
3. 各班の話し合い内容など	7
4. 全体とりまとめ	23
5. アンケート調査結果	30
6. まとめと今後の課題	39
付録	41

1.背景と目的

東日本大震災から4年が経過し、震災の被害を受けた多くの自治体では、復興計画に基づき生活や産業の再建に向けて日々尽力されている。常磐高速自動車の開通や鉄道の再敷設など、インフラ等の再建や整備が進み、復興の兆しが具体化してきた。

復興事業は予算措置を含め、おおむね震災発生から10年を目途に、早期の復興を主眼とした比較的短期的な視点で検討されているものが多い。また、震災以前に作成された総合計画の見直しが多く自治体で進められているが、これらも復興計画の延長にあるものが多い。震災前のくらしやなりわいを早急に取り戻す視点は重要ではあるが、短期的な視点のみの事業では、復興以降の地域の生活や産業を支え、発展させるための人材育成や、長期的かつ継続的な取り組みが必要な少子高齢化問題、地球温暖化問題などへの対応の視点が手薄になりがちである。

こうした長期的な視点での対応が必要な課題克服を目指す際、地域住民の方々が復興の先にとどのような将来像を望んでいるのか、また、どのような地域社会を実現したいのかを、丁寧に検討することが重要である。また、若い世代に将来の地域を意識してもらうことは、地域の発展に資する将来ビジョンを長期にわたって共有することを可能にし、ビジョンの実現に向けた取り組みを推進する上で有意義であるといえる。

国立環境研究所（2015年3月当時。2015年4月現在、国立研究開発法人国立環境研究所に改組。以下、国立環境研究所とする。）では、2013年3月に福島県新地町と、新地町における環境と経済が調和する復興を支援する研究に関する連携と協力を推進するとともに、その成果の活用を図るため、基本協定を締結した。その活動の一環として、国立環境研究所社会環境システム研究センターでは、新地町立尚英中学校、新地町教育委員会、新地町企画振興課、新地町復興応援隊（NPO法人みらいと）、（株）協和コンサルタンツの協力のもと、新地町立尚英中学校第2学年の3クラスの生徒88名を対象とした「2050年の新地町の未来地図をつくろう！」ワークショップを開催する運びとなった。本報告書は、「新地町の未来地図をつくろう！」ワークショップの手順や内容を示すとともに、成果をとりまとめたものである。

本ワークショップは、2014年1月23日に新地町立尚英中学校第1学年（当時。今回対象となった2年生が1年生のとき）の3クラス88名の生徒を対象に、開催した「2050年の新地町を考えよう！」をテーマとしたワークショップ¹のフォローアップとともに、新地町の未来のまちづくりに対する中学生からの提言を取りまとめる、という位置づけで企画したものである。

2014年1月23日のワークショップは、新地町立尚英中学校、新地町教育委員会、新地町企画振興課、NPO法人みらいと、（株）協和コンサルタンツの協力を得て、2050年に50歳を迎え、将来社会で中心的な役割を担うことになる中学1年生が、何を望ましいと考え、長期的にどのよ

¹詳細は「新地町立尚英中学校ワークショップ『2050年の新地町を考えよう！』報告書」を参照されたい。
<http://www.nies.go.jp/social/dp/pdf/ijqm10000002h6rn-att/2014-03.pdf>

うな新地町にしたいと考えているのかを把握するために実施した。具体的には、各クラス 5 班（全 15 班）に分かれて 2030 年、2050 年の新地町の将来像について時系列で検討してもらい、結果を模造紙にまとめて発表してもらった。生徒の皆さんは非常に活発で、新地町の将来を真剣に考え、しっかりと問題意識を持って臨んでいる様子が窺えた。ワークショップで提示された特徴的な意見として、都市化や人口増などの希望を膨らませた項目が最も多くなっていた。また、地域の豊かな自然をこれからも守っていききたいという強い意志や、地域独自の神楽や特産品、鹿狼山、海などへの愛着が感じられる意見も多く、おおむね新地町の明るい将来像を描写していた。

ただし、その時点の今後の課題として、生徒が将来の新地町に対し、どこがどのようになってほしいのか、より具体的なイメージを膨らませるとともに、その理想に向かって主体的に関与していくための意識喚起の取り組みが継続的に必要であるとの指摘があった。また、その後、国立環境研究所社会環境システム研究センターと新地町企画振興課との協議の過程で、ワークショップを発展させ、成果をより具体的な新地町の将来像への提言としてまとめることができないかとの提案があった。

こうした背景から、2013 年度に引き続き、今回のワークショップを計画、実施することとなった。

今回のワークショップの目的として、「1 年生の時に開催したワークショップの結果をふまえつつ、地図や写真を元に自分たちの住んでいるまちをよく知り、その未来について深く考え、話し合い、より具体的な 2050 年の新地町の姿について提言する。また、新地町の未来のまちづくりに自分たちも参加できることを学ぶ。」ことを掲げ、ワークショップの到達点として、2050 年の新地町の具体的な将来の姿（未来地図）とキャッチフレーズを作成してもらうことを目標とした。

本報告書は、今回のワークショップにおける具体的な手順や、生徒が発言した意見、生徒自身がとりまとめた新地町の将来の姿を示したものである。こうした取り組みや中学生から出された意見が、新地町の復興と発展に貢献することを期待する。

2.ワークショップの概要

復興の先にある長期的な将来ビジョンについて、できるだけ具体的なイメージを共有・発信していくことは、そのビジョンの実現に向けて重要な取り組みとなる。とりわけ、将来を担う若い世代の人々が主体となって、望ましいと考える将来像を把握し、地域の将来ビジョンを描いていくことは、短期的な復興だけでなく、復興以降の地域の生活や産業を支え、発展させるための人材育成や、長期的かつ継続的な取り組みが必要な問題への対応を促進・継続する上で重要である。

こうした考え方の下、新地町企画振興課と国立環境研究所社会環境システム研究センターは、2014年1月23日に新地町立尚英中学校第1学年3クラス88名を対象に開催したワークショップ「2050年の新地町を考えよう！」(以下「前回ワークショップ」)のフォローアップとして、新地町の長期的かつ具体的な将来像についての中学生の提言を取りまとめることを企図して、今回のワークショップ「2050年の新地町の未来地図をつくろう！」(以下「本ワークショップ」)を企画した。

本ワークショップの検討から実施までの経緯について、表2-1に示す。また、付録1に、生徒の事前作業に用いた新地町の地域資源を配置した地図と作業メモ等を示す。

表2-1 本ワークショップ開催までの経緯

2014年5月下旬	新地町企画振興課と国立環境研究所社会環境システム研究センターとの環境未来都市事業協議の過程で、前回ワークショップのフォローアップとなるワークショップの開催について調整が始まる。
2014年7月下旬	国立環境研究所社会環境システム研究センター内の数名で、本ワークショップ開催の方針について打ち合わせ。この時点で本ワークショップ開催日時は2014年11月頃を予定。
2014年10月上旬	国立環境研究所社会環境システム研究センターと新地町企画振興課との間で、本ワークショップ開催日時や当日の実施概要について調整が始まる。この時点で、本ワークショップの開催日時は2014年12月10日の予定に変更(11月の日程ではスタッフの確保が困難なため)。
2014年10月20日	国立環境研究所社会環境システム研究センター内で、本ワークショップの開催について関心のあるスタッフを募り、日時や内容について打ち合わせ。この時点で、新地町の白地図と、新地町の主要な地域資源等の写真を活用したワークショップとする方針が固まり始める。

表 2-1 本ワークショップ開催までの経緯（続き）

2014年10月28日	適宜新地町企画振興課、新地町立尚英中学校第2学年担当教諭との間で連絡調整を行いつつ、ワークショップの内容を詰めていくこととなる。この時点で、事前に新地町の地図に町の地域資源等の写真を配置したものを各クラスに掲示し、予め生徒に「2050年の新地町に残っていてほしいもの・こと」「2050年の新地町で新たにしておきたい（変わっていてほしい）もの・こと」について、各2枚のメモをつくってきてもらう作業を依頼する方針を決定。
2014年11月18日	国立環境研究所社会環境システム研究センター内の本ワークショップスタッフ担当予定者で、詳細な内容案について打ち合わせ。ワークショップの事前作業として、先方に依頼する宿題メモと新地町の地域資源等を配置した地図を準備し、当日の進行案等についても共有。
2014年12月1日	新地町立尚英中学校にて、全体説明と打ち合わせ。ワークショップ事前作業として、新地町の地域資源等を配置した地図の掲示を依頼し、生徒の皆さんに「2050年の新地町に残っていてほしいもの・こと」「2050年の新地町で新たにしておきたい（変わっていてほしい）もの・こと」について、各2枚のメモをつくってきてもらう作業を依頼。当日の進行案等についても共有。
2014年12月4日	国立環境研究所社会環境システム研究センター内の本ワークショップスタッフ担当予定者で、当日の行程や内容について最終確認。
2014年12月10日	本ワークショップ開催。

本ワークショップは、「1年生の時に開催したワークショップの結果をふまえつつ、地図や写真を元に自分たちの住んでいるまちをよく知り、その未来について深く考え、話し合い、より具体的な2050年の新地町の姿について提言する。また、新地町の未来のまちづくりに自分たちも参加できることを学ぶ」ことを目的として掲げ、ワークショップの到達点として、2050年の新地町の具体的な姿（未来地図）と将来像を適切に表現するキャッチフレーズを作成してもらうこととした。ワークショップの開催時間は、新地町立尚英中学校の短縮授業日程を勘案して、5～6校時13:10～14:50の1時間30分を活用することとなった。本ワークショップのスケジュールを以下表2-2に示す。

表 2-2 ワークショップ当日のスケジュール

時刻	作業の内容
13:10-13:20	全体ファシリテーターよりワークショップの目的と作業の説明。 1年生の時に開催したワークショップの結果概要の説明。
13:20-13:35	グループ作業 1 生徒の皆さんに予め準備してもらった「2050 年にも残しておきたいもの・こと」(2 枚)、「2050 年には新たにしておきたい (変わってほしい) もの・こと」(2 枚) について班のメンバーに説明しながら、白地図の当てはまる場所に置いていく。【1 人 2 分ずつ】
13:35-13:50	グループ作業 2 町の将来について、1年生の時のワークショップの結果や、班のほかの人の意見をふまえ、話し合いながら、白地図に意見を書いたメモや付箋紙をはって、2050 年の新地町の具体的な姿をまとめていく。このとき、グループ作業 1 で意見が出ていなかったもの・ことについてもなるべく考え、話し合っていく。
13:50-14:00	休憩 (ほかの班の作業の様子も見てみることを勧める)
14:00-14:10	グループ作業 2 の続き。
14:10-14:20	グループ作業 3 発表の準備。キャッチフレーズの取りまとめ。
14:20-14:40	グループ作業 4 発表 (各班 4 分ずつ)
14:40-14:50	全体ファシリテーターから発表へのコメント。アンケート記入・回収。

当日は、新地町の未来地図の作成やキャッチフレーズの検討を、3 クラス×5 班の計 15 の生活班 (1 班 5~6 名) をもとに行い、全体で 15 枚の新地町の未来地図と 15 個のキャッチフレーズが作成されることになった。また、班での議論が活発になるように、各班に担任教諭や、国立環境研究所社会環境システム研究センター、新地町復興応援隊 (NPO 法人みらいと)、(株) 協和コンサルタンツのスタッフがサポーターとして付いて話し合いを見守り、時には意見を引き出す役割を果たすことにした。また、国立環境研究所社会環境システム研究センターのスタッフが各クラスにおいて全体のファシリテーターを務め、時間管理と全体的な議論の促進を図った。表 2-3 に当日の支援状況を示す。また、付録 2 に、生徒各自に配布したスライドや各班に配布した白地図と全体ファシリテーターのコメントを示し、付録 3 に生徒に当日記入してもらった後回収したアンケート票を示す。

表 2-3 クラス別の対応状況（敬称略）

	1組	2組	3組
クラス担任	○羽根田一弘	○秋元裕美	○武澤さやこ
	学年主任 郡司智美		
国立環境研究所 （全体ファシリテーター）	◎高橋敬子	◎中村省吾	◎岩淵裕子
国立環境研究所 （各班サポーター）	○森保文 ○五味馨	○芦名秀一 ○戸川卓哉 ○永野亜紀	○大場真 ○白木裕斗 ○小谷部透
国立環境研究所（写真撮影）	有賀敏典	—	田邊千英
新地町復興応援隊 （NPO 法人みらいと）	○橋森公亮	○東博之	—
協和コンサルタンツ	○佐藤恭子	—	○佐藤千尋
	—	山本沙代子 （撮影）	—
新地町役場	黒沢知子		

◎ 全体ファシリテーター：サポーターの人数が少ない場合は、班のサポーターとともに、クラス全体をフォローする。

○ 各班のサポーター：発言を促したり、全体のとりまとめの支援をする。

3.ワークショップの話し合い内容

当日話し合われた内容を、図 3-1 の通り、1 班 1 ページの様式に整理した。

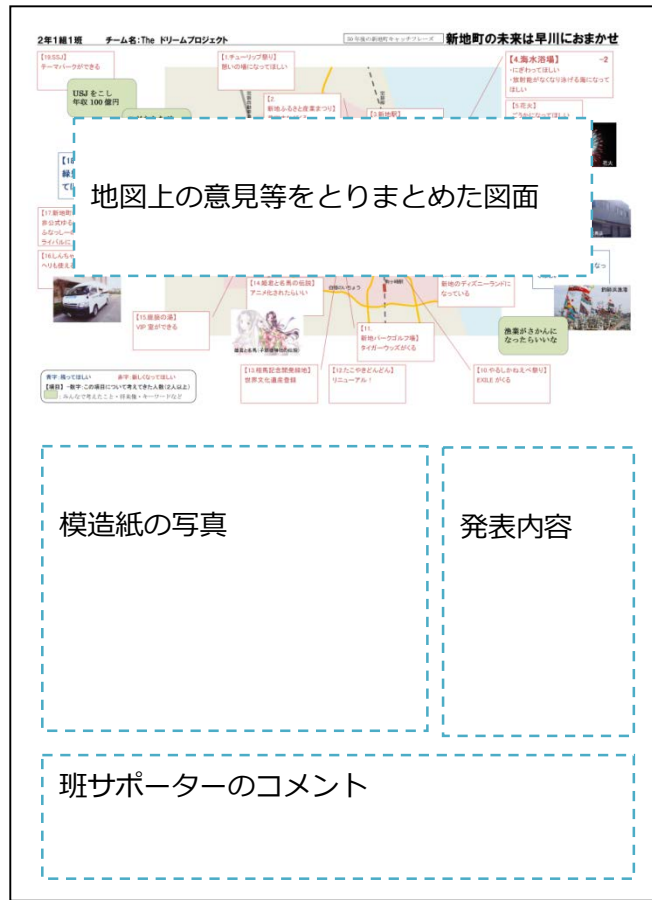
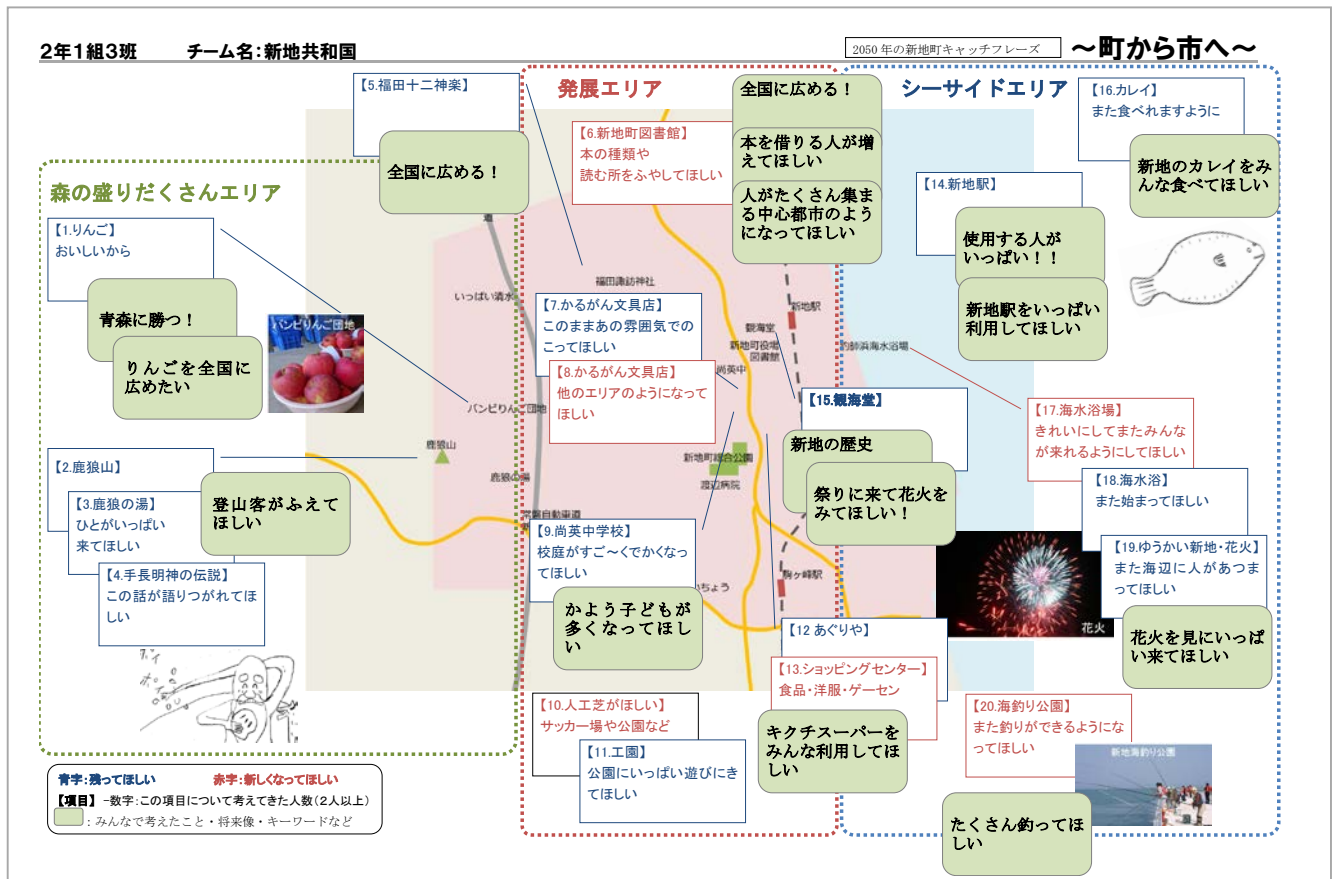


図 3-1 話し合いのとりまとめ様式



■発表内容



- シーサイドエリア、発展エリア、森の盛りだくさんエリアに分けた。
- シーサイドエリア:流されてなくなった祭りを復活させる。カレイが食べられるように。
- 発展エリア:かるがん文具店が残って欲しい。フレスコはショッピングセンターのように大きくなって欲しい。
- 森の盛りだくさんエリア:りんごは生産量で青森に勝つ。鹿狼山に登山客がたくさん来て欲しい。

■班サポーターからのコメント

五味 馨 (国立環境研究所)

中学校の近くの駄菓子屋さんが残っていて欲しいという人が多かったのが印象的でした。人が集まるような新地町になって欲しいという意見も一致していたようです。海、町、山と色々なエリアがあることでそれぞれに違ったイメージが出来てきたのは新地町ならではのかもしれない。今回は希望を地図にしましたが「残っていてほしい」「変わってほしい」ものを「残す」「変える」ためにはどうしたらいいかを考えていくきっかけになるとよいと思います。

2年1組4班 チーム名:4班 2050年の新地町キャッチフレーズ STORY OF MY LIFE

【1. 街灯】 -4
 ・街灯が少ない
 ・暗いから明るくしてほしい
 ・夜道が暗い、あぶない

【2. マンション】
 人口がふえてほしい

【3. はたらく場所】
 はたらく場所がほしい

【4. 新地駅】 -2
 ・今より使いやすいしてほしい
 ・前使っていたときよりも使いやすくしてほしい

【5. 電車】
 とにかく直す

【6. 新幹線】

【7. 花火】 -2
 ・前やっていたみたいに海でも花火をやってもらいたい(夏祭りのなども)
 ・地震があつたら海で花火があがらなくなってしまったけど、未来では花火があがってほしい

【8. 動物園】
 人が来てにぎわってほしい

【9. 動物園】(保護施設)

【10. やるしかねえべ祭り】 -2
 ・今の楽しいまんまで残してほしい
 ・毎年夏に今のようなお祭りを開いてほしい

【11. よさこい】 -2
 ・今のままで残してほしい
 ・今みたいに続けてほしい

【12. 子盾嶺神社の伝説】

【13. 渡辺病院】
 新地以外の人にも来てほしい

【14. いちたん】
 もっとユニークにしてほしい

【15. 公園】

【16. 鹿狼山】 -2
 ・観光地になってほしい
 ・自然がいっぱい、あるがままでほしい

【17. 大型ショッピングモール】 -2
 ・人口がふえてほしい
 ・にぎやかになってほしい

【18. アニメイト】

青字:残してほしい 赤字:新しくしてほしい
【項目】 -数字:この項目について考えてきた人数(2人以上)
 :みんなで考えたこと・将来像・キーワードなど

■発表内容

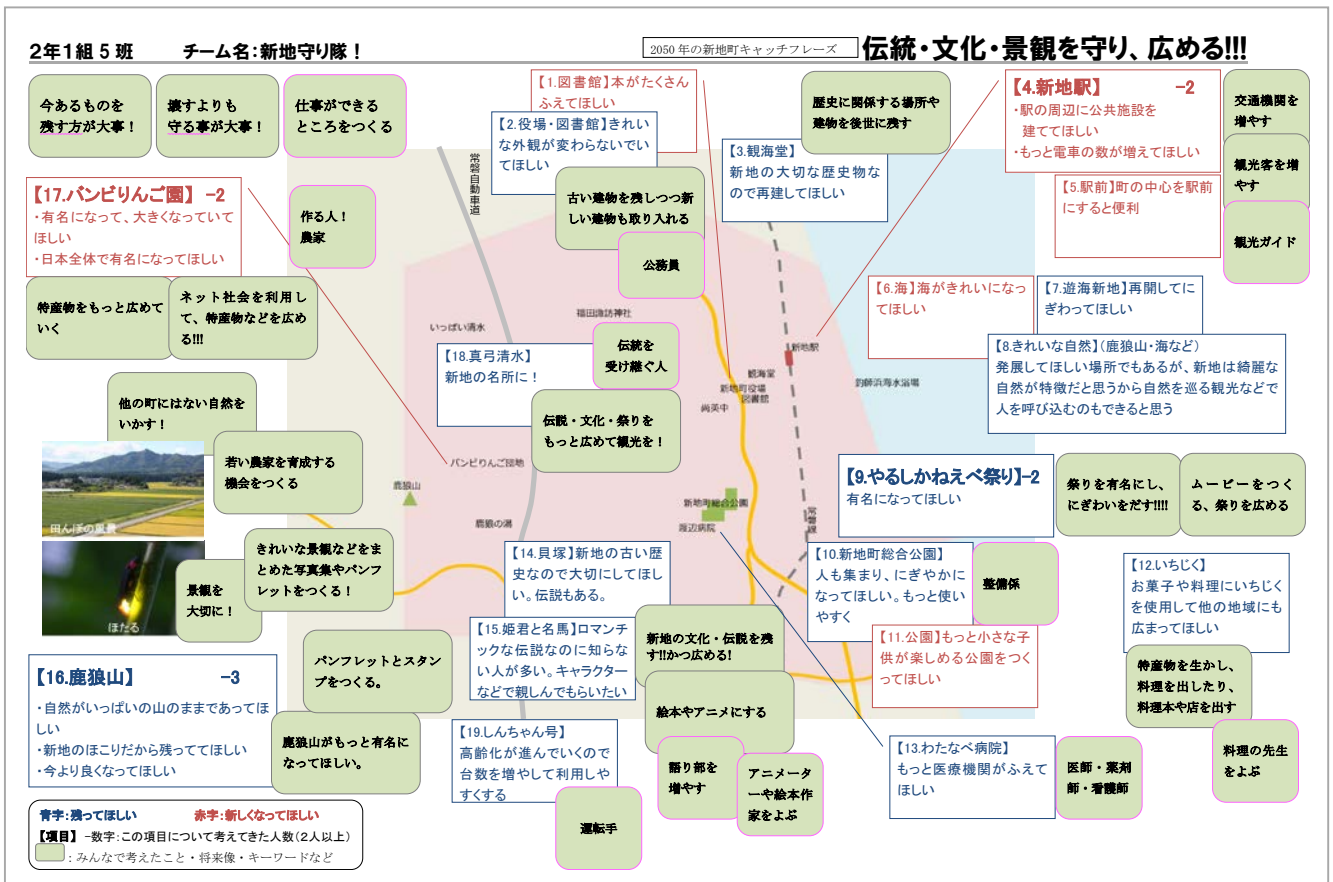


- 創り出していききたい新地町は、発展させることが一番。
- 発展させるために、人口を増加させ、自然を残しながら、デパート・電車をつくれたらいい。
- 花火などを戻していきたい。人口を増加させ、まちを発展させると、交通量も増えると思うので、交通整備・街灯も必要。
- 未来の子ども達が外で遊べるように公園をつくる。

■班サポーターからのコメント

橋森 公亮 (新地町復興応援隊)

大都市志向が強く、ショッピングセンター、大規模なマンション、既存の公園の遊園地化等など、新たに居住・商業娯楽施設を求める意見が数多く出ました。一方、新地町に根付いた資源については、鹿狼山など自然や伝統文化を活かしたいという意見が出ました。主観的な意見のぶつけあいになったり、議論が飛躍しがちになったりもしましたが、夜でも安全なように町一帯に街灯が整備される、就職先がたくさんあるなど、身の周りの生活環境に即した意見も出てきたのが印象的です。



■発表内容

- ふせんの色を青：目的、ピンク：具体的な方法、オレンジ：仕事に分けた。
- よさこいは伝統を受け継ぐ人が大事。
- 観光客を増やすために観光ガイドが必要。
- 伝説など文化を残すためには、絵本やアニメにして広める。
- 特産物を知ってもらうには、情報化社会なのでネットで広める。特産物をつくる人も大事なので、若い農家を育成することが必要。
- いちじくは、料理の先生を呼んだりして広めていきたい。
- 都市にはない自然を守った発展を重点に考えた。自然を守るためには、人も必要なので、人を呼べるような仕事を増やすことが大



■班サポーターからのコメント

佐藤 恭子 (協和コンサルタンツ)

女子のみのグループで宿題の完成度も高く、残っていてほしい、新たになってほしいだけでなく、そのために必要な具体的な手法、必要な仕事にまで議論を深めることができた。都会にはない、新地に今あるいいものを守る という考えを持ったリーダー格の生徒の引っ張り力も大きかった。せっかく必要な仕事（職業）まで話し合ったので、それを自らの職業として考えるような議論をして、町の将来を担う人材の育成につなげたかった。

2年2組1班 チーム名:目黒ゴツ 2050年の新地町キャッチフレーズ **自然豊かで近代的な新地町**

【1.りんご】昔からおいしい

【2.バナナりんご団地】甘いりんごになってほしい

【19.いちじく・にら】新地町の特産品が残って、もっと美味しくなり、観光客のお土産になっていると思います

【18.鹿狼山】-3
・新地町のシンボルみたいな存在だから残してほしい
・自然ゆたかになってほしいです

【17.カrou山などの山や温泉】登山ができる山や温泉があれば観光客が来てくれると思うので残してほしいです

【16.公園】総合公園のような、みんなが気軽に遊べる公園がもう少しほしい

【15.ショッピングセンター】相馬にあるジャスコぐらいにはお店が集まっているといいです

【14.やるしかねえ祭り】宮城県境あたりからも”行ってみようかな”と思えるくらいになってくれたらうれしいが、変化がなくても続いているとうれしいです

【13.やるしかねえ祭り】もっと花火を大規模にしてほしい

【12.あぐりや】お店が大きくなって残っていてほしい

【11.コンビニ】

【10.しんちゃん GO】-2
・今よりもっと高齢化が進んでいると思うから、お年寄りにやさしい町になってほしい
・もっとみんなが気軽に乗れるようになってほしい

【9.図書館】

【8.海水浴場】(花火大会)震災前みたい(以上)に、大きなお祭りやみんながよく泳げるような海になってほしい

【7.海】-2
・きれいになってほしい
・人がまた楽しく笑顔で遊べるような町

【6.復興した海】海水浴場やキレイな砂浜があればいいと思います

【5.バスや電車】バスや電車がもっとあれば交通の便もよくなると思います

【4.書店】

【3.飲食店】飲食店がとてもしないのでもっとふやしてほしい

【20.ポヌール】パンなどはおれが好きだから

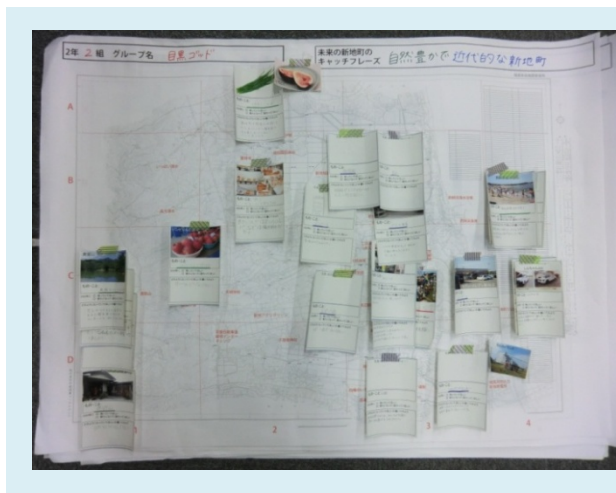
【21.デパート】買い物ができるように

【22.スポーツ店】

【1.りんご】
【2.バナナりんご団地】
【19.いちじく・にら】
【18.鹿狼山】
【17.カrou山などの山や温泉】
【16.公園】
【15.ショッピングセンター】
【14.やるしかねえ祭り】
【13.やるしかねえ祭り】
【12.あぐりや】
【11.コンビニ】
【10.しんちゃん GO】
【9.図書館】
【8.海水浴場】
【7.海】
【6.復興した海】
【5.バスや電車】
【4.書店】
【3.飲食店】
【20.ポヌール】
【21.デパート】
【22.スポーツ店】

青字:残してほしい 赤字:新しくなってほしい
【項目】-数字:この項目について考えてきた人数(2人以上)
■:みんなで考えたこと・将来像・キーワードなど

■発表内容



- キャッチフレーズは、自然豊かで近代的な新地町。
- キャッチフレーズの「自然豊か」は、鹿狼山と山や温泉のこと。
- 「近代的」はショッピングセンター。新地には買い物する施設がないから。
- また、新地 IC ができて、交通の便が良くなるといい。

■班サポーター 秋元 裕美教諭

コメント代筆 中村 省吾 (国立環境研究所)

班で出した意見としては、鹿狼山に代表される陸側の自然やニラ、イチジクなどの特産品、釣師浜海水浴場に代表される海の復興を強く意識したものが多かった。一方、新たになって欲しいものとしては、バスや交通、買い物が便利になって欲しいといった意見が多く、班のキャッチフレーズ「自然豊かで近代的な新地町」にもただ便利になればよいのではなく、豊かな自然も大切にしながら発展して欲しいという思いが感じられた。

2年2組2班 チーム名:介さん 2050年の新地町キャッチフレーズ **近代的で自然豊かな新地町**

【1.リンゴ】
おいしい

【2.りんご】
ラ・フランスになってほしい

【3.バンビりんご団地】
おいしいリンゴをつくり続けてほしい

【4.福田十二神楽】
残してほしい

【5.駅(電車)】
移動に便利な交通機関をととのえてほしい

【6.新地駅】
人が来やすいようにキレイに新しくしてほしい

【7.かるがん文具店】
昔のおかしを売っている
ので残してほしい

【8.かるがん文具店】
もっと大きくなってほしい

【9.セブンイレブン】

【10.あぐりや】
もっと大きくなって、みんな
が行きやすい場所のこ
ってほしい

【11.ファミリーマート】

【12.しんちゃんGO】

【13.新地海釣り公園】
大きい魚が釣れるように

【14.やるしかねえべ祭り】
祭りがもっと大きくなって
ほしい

【15.花火】
もう少し盛大になってほし
い

【16.手長明神の伝説】

【17.ゆるキャラ】
これはね〜わ

【18.鹿狼山などの自然】
新地のきれいな自然が未
来にも残っていてほしい

【19.いちじく】-2
-いちごアイスにかわってほしい
-いちじくがいちごにかわってほしい。
似ているから。とくにちおとめ

【20.いちじくなどの特産品】
いちじくなどの物産品。新
地の野菜など未来にも残
いてほしい。

青字:残してほしい 赤字:新しくしてほしい
【項目】-数字:この項目について考えてきた人数(2人以上)
:みんなで考えたこと・将来像・キーワードなど

■発表内容



- キャッチフレーズは、「近代的で自然豊かな新地町」
- 残ってほしいものは、バンビりんご団地のりんごと、鹿狼山。

■班サポーターからのコメント

芦名 秀一 (国立環境研究所)

もっぱら「今、ここはこうなっている」という現状の話で、「ここが面白いところ/すごいところなんだ」と、新地町の自慢が中心であり、愛着を持っているのは間違いないようである。また、「セブン伝説」を作り上げるなど、新地町にさらに自慢できるポイントが増えていくことを望んでいることも伝わってきた。もう少し将来の話ができればとは思いつつあるいっぽう、新地町にとっても愛着があり、もっとよくなってほしいという思いをもっていることがわかったことは、とても重要なポイントであり、新地町のこれまではぐくんできた財産なのだろう。

2年2組4班 チーム名:ゴットハンド☆ 2050年の新地町キャッチフレーズ **豊か、自然、にぎわいのある新地町**

【1.チューリップ祭り】
きれいなチューリップがたくさん咲いているから(いろいろな種類のチューリップ)

【2.新地駅】
電車で移動できるようにしてほしい

【3.観海堂】
新しく建ててほしい

【4.遊海新地】
前までのように海で花火をあげられるようにしてほしい!

【5.海水浴場】 -2
・前のように海水浴場ができてほしい
・前の新地町のように海水浴場ができてほしい

【6.大きい店】
すぐに買い物に行けるようにしてほしい

【7.あぐりや】
お店を大きくしてほしい

【8.スーパー】
新地には今あまり大きいお店がないので、今後スーパーやファミレスなどの大きなお店をふやしてほしい

【9.釣師浜漁港】
遊覧船をつくってみたいから??

【10.白幡のいちよう】
古くからある。すごくきれいだから

【11.白幡のいちよう】
古くからある。すごくきれいだから

【12.白幡のいちよう】
古くからある。すごくきれいだから

【13.新地町総合公園】
小さい子どもがいっぱい体を動かして遊べる公園であってほしい

【14.やるしかねえ祭り】-2
・みんなが楽しめる祭りであってほしい
・たくさんの人に来てもらえるように出店をもっと出してほしい

【15.しんちゃん号】
お年寄りの方などが気軽に利用できるから

【16.いちじく】
子どもでも食べやすい、おやつっぽいものを作ってほしい

【17.手長明神の伝説】
小学校で1度聞いたことがあるが、おもしろかったから、いろんな人を知ってほしい

【18.公園】
遊具をふやす

【19.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【20.さくら】
新種改良してみたなら?

【21.鹿狼山】
そのまま(ありのままの姿で!!)

【22.パンピリン公園】 -2
・パンピリンはたくさんみつがっていて、とてもおいしいから
・りんごが好きだから~。アップル~!!!!!!

【23.いっぱい清水】
震災で水道が使えないとき利用した

【24.ポヌール】
パンが好きだから~

【25.さくらや】
食べ物おいしいから

【26.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【27.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【28.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【29.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【30.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【31.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【32.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【33.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【34.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【35.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【36.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【37.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【38.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【39.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【40.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【41.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【42.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【43.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【44.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【45.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【46.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【47.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【48.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【49.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【50.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【51.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【52.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【53.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【54.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【55.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【56.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【57.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【58.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【59.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【60.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【61.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【62.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【63.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【64.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【65.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【66.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【67.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【68.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【69.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【70.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【71.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【72.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【73.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【74.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【75.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【76.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【77.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【78.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【79.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【80.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【81.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【82.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【83.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【84.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【85.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【86.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【87.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【88.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【89.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【90.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【91.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【92.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【93.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【94.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【95.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【96.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【97.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【98.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【99.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【100.新地パークゴルフ場】
年寄りにゴルフが人気だから

【項目】 -数字:この項目について考えてきた人数(2人以上)
青字:残してほしい 赤字:新しくしてほしい
:みんなで考えたこと・将来像・キーワードなど

■発表内容



- 班の名前は、「神の手で 2050 年の新地をつくる」ためにつけた。
- キャッチフレーズは、「豊か、自然、にぎわいのある新地町」。豊かな鹿狼山の自然を守り、にぎわいを残すイメージ。
- 海水浴場では、以前のように遊びたいという意見がでた。
- しんちゃん GO (乗り合いタクシー) は、お年寄りが気軽に利用できるから残っていてほしい。

■班サポーターからのコメント

永野 亜紀 (国立環境研究所)

宿題として提出してもらった「2050 年にも残しておきたいもの・こと」、「2050 年には新たにしておきたいもの・こと」では、当初、コンビニ、大型スーパー等、日々の暮らしに近いものが挙げられていたが、話し合いの過程でどこにでもあるものより新地町固有のものを残したいという結論に至り、最終的に自然・文化財の保全を選択した。また、地震・津波で失ったもの(観海堂、海水浴場、花火)を含めて 2050 年までに町を再興したいという意見がでるなど WS は子供達の地域への思いを深化させる事に少しは貢献できたのではないかなと思う。

2年2組5班 チーム名：チームまさゆき 2050年の新地町キャッチフレーズ **にぎやかで楽しい町・目標1万人**

残したいもの 自然と文化

変わってほしい物 たくさんの店

目標1万人

青字: 残してほしい 赤字: 新しくなってほしい
 【項目】-数字: この項目について考えてきた人数(2人以上)
 ;: みんなで考えたこと・将来像・キーワードなど

【19.ショッピングモール】 -2
 ・たくさんの人でにぎわっているショッピングモール
 ・近くで買い物ができるように

【20.イオンモール】
 遠くに行かなくても気軽に買い物できるから

【21.デパート】
 今、人口が少ないので増えてほしい

【22.スーパー】
 大きいスーパーがある

【23.ゼビスポ】
 なるべく近くにあってほしい

【24.大学】
 お金をかけずに歩いてでも行けるようになってほしい

【18.町】
 町が大きくなってほしい

【17.さくら】
 とてもきれいだし、みんなくるから

【16.森】
 森が残っていてほしい

【1.図書館】 -2
 ・今みたいに、みんなが気軽にきて、本を借りれるようになってほしい
 ・本の数をもっとたくさんの種類になってほしい

【2.新地ふるさと産業祭り】
 残っていてほしい

【3.さくらや】
 おいしい食べ物を残してほしい

【4.海】 -3
 ・みんなが遊べるようにきれいになってほしい
 ・みんなが泳げるようになってほしい
 ・多くの人が楽しく泳げる海になってほしい

【5.学校】
 校舎がきれいになってほしい

【6.丸久精肉店】
 また再オープンして、おいしい肉を人々にくわせてほしい。

【7.あぐりや】
 新地一番の市場なので、このまま残してほしい

【8.コンビニ】
 もう少し品物が多くなってほしい

【9.どんどん】
 おいしいご焼きがいつまでも食べたい

【10.盆踊り】
 みんなが笑顔になるし、いろんな人とふれ合うから、残してほしい

【11.やるしかねえ祭り】 -2
 ・今みたいに人がたくさんくる
 ・今のようにならなくてほしい

【12.わくわくランド】
 残っていてほしい

【13.白樺のいちょう】
 残っていてほしい

【14.総合体育館】
 もう少し大きくなってほしい

【15.渡辺病院】

■発表内容

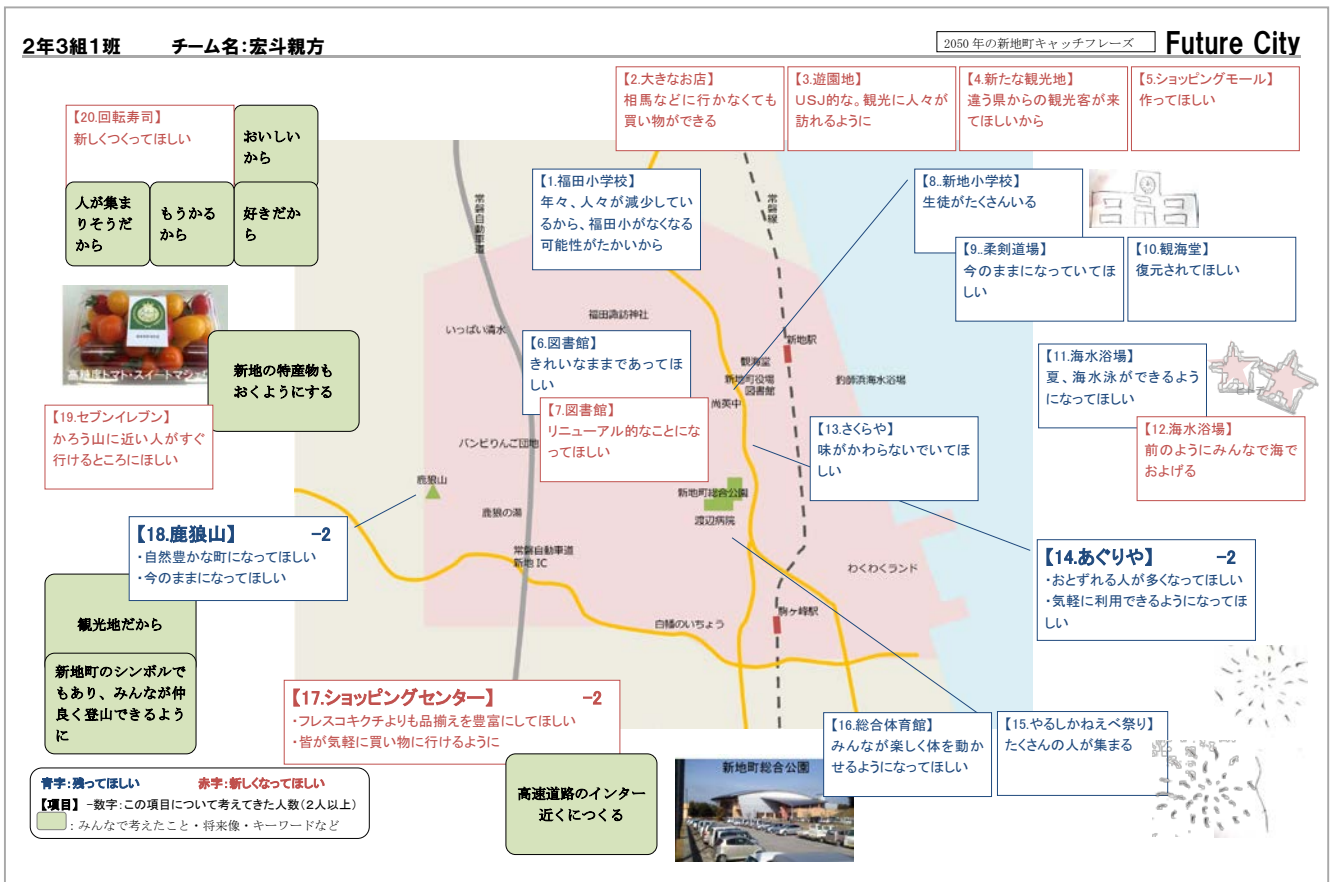


- キャッチフレーズ「にぎやかで楽しいまち」。観光客がいっぱい来てにぎやかになってほしい。
- 2050年の人口目標は1万人。(現在は8千人程度。)理由は、あまり人口が多すぎても、と思うので1万人くらいがちょうどいいため。
- 残して欲しいのは自然。
- 変わってほしいものはお店。「どんどん」の美味しいご焼きをいつまでも食べたい。丸久精肉店が再オープンして、おいしいお肉を食べさせてほしい。

■班サポーターからのコメント

東 博之 (新地町復興応援隊)

宿題シートについてしっかり真面目に考えてきてくれました。2050年の目標人口を質問すると最初こそ「1億人」などとふざけ半分でしたが、最終的に出した結論は1万人。現在とほぼ変わらない微増の理由を問うと、「極端な人口増加で暮らしぶりになることは避けたい。しかし観光客誘致は積極的に行い、駅前や沿岸部は賑わってほしい」と非常に現実的で、個人的にも同調したくなるような答えを話してくれました。



■発表内容

- 2050年までに残ってほしいこと
鹿狼山は、新地町のシンボルでもあり、観光地でもある。今のまま、自然が豊かであってほしい。海水浴場が復興してほしい。夏、昔のように海水浴ができるように。
- 2050年までに変わってほしいこと
USJ的なテーマパーク、新しい観光地ができてほしい。多くの人を訪れ、まちがにぎわうから。大きなショッピングモールがほしい。みんなが気軽に買い物などに行けるように。

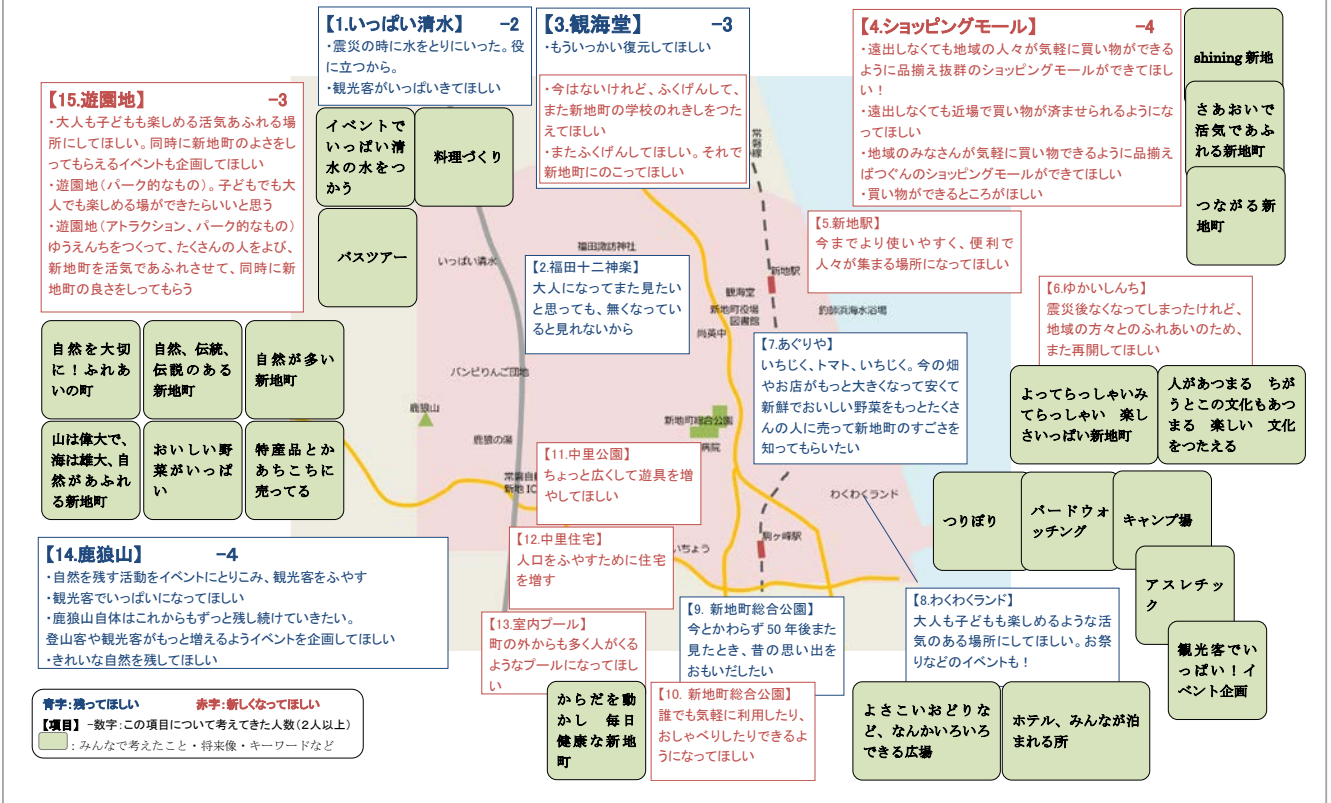
■班サポーター 武澤 さやこ教諭 コメント代筆 岩淵 裕子 (国立環境研究所)

鹿狼山や伝統的な建築物、お祭りなどへの愛着や、海岸部の復興への想いは深く、自然や伝統を守りたいとの希望が強かった。また、USJ (テーマパーク) やショッピングセンター、回転すし店、新たな観光地など、人が集まる娯楽施設や、生活に利便性をもたらす施設などへの希望も多く、漠然とではあるが、それらが交流人口や常在人口の増加に繋がるという意識を持っていたように思われる。もう一步踏み込んで、それらが実現するにはどうしたらよいかにまで議論が深まると、なお良かったと思う。

2年3組2班 チーム名: Shining

2050年の新地町キャッチフレーズ

元気 明るい笑顔 自然 特産品



■発表内容

新地駅から様々なものが広がってほしい。電車だけではなくバスや新幹線などが通って、地方からもっとたくさんの方が来て新地のことを知ってもらいたい。そのために… ●来た人が不便をしないようなホテルやショッピングモール（新地町に住む人も遠くに買い物にいかなくてもよい）。 ●わくわくランドや遊園地（大人も子どもも楽しめるような活気的な場所にして人と人とのふれあいを大事にする） ●新地総合公園や陸上競技場（からだを動かす場所をつくって元気あふれる新地） ●鹿狼山は自然を残す活動をイベントにとりこみ観光客をふやす ●いっばい清水は災害のときに役立ったりしていたので残っていてほしい。 ●新地を知らない人のためにバスツアー ●お祭りや震災後行っていない「遊海新地」なども更に活気的になってほしい。



■班サポーターからのコメント

大場 真 (国立環境研究所)

内容が多く、生徒の意見出しが軌道に乗り出したところで終了した感じがあった。テーマとしてはやはり商業施設(遊園地、ショッピングセンター、新地駅開発)が興味を引きつけているようであるが、祭りなどのイベント、鹿狼山を含む自然などがテーマとして上った。産業系についてはやはり事前情報を持っていない印象であった。発表については、事前準備をしなかったがよくまとめていた。できれば各自にまとめた作文などを宿題として出すと、表現やまとめなどのスキルアップになるのではないかと思った。

2年3組3班 チーム名:新地町を展覧させるもっちゃん&直ちゃん 2050年の新地町キャッチフレーズ 展覧都市新地

【22.コンビニ】
 福田のほうにお店がないから

【21.バンビりんご園】
 ブランド化できるようにしてほしい

【20.バンビりんご園地】
 りんごがおいしいから

【19.手長明神の伝説】
 昔のことが好きだから

【18.鹿狼山】 -2
 ・のぼるのが楽しいから
 ・今のままでいてほしい

【16.鹿狼の湯】 -2
 ・登ったあとに入りたいから
 ・いい湯だから

【17.鹿狼の湯】
 あたたくて落ち着いて入れるから

【15.ほたる】
 ほたるはきれいなところ
 にしか住まないから

【14.ボーリング】
 投げて楽しみたいから

【13.白幡のいちよう】
 このまま寿命を延ばしてほしい

【12.おじいちゃんの家】
 住んでいたところだから

【11.花火】
 夏の風物詩で、花火をみる
 といやされるから。

【10.やるしかねえ祭り】 -2
 ・祭りがもりあがってほしいし、知ってもらいたい
 ・夏の夜空に花火はかせないし、友達とかと一緒に
 すごせるから

【9.かるが文具店】
 菓子が安くておいしいから

【8.本屋】
 新しくってほしい

【7.図書館】
 本を借りたい時に行けるから

【6.ショッピングセンター】 -3
 ・新しくってほしい
 ・わざわざ遠くに行くのが大変だから
 ・新地町にもショッピングモールがあったら便利

【5.新地駅】
 遠出するときの移動が
 楽になるから。新地町の
 シンボル

【4.きつてん】
 ともだちと集まったり
 ゆっくりできるから

**【3. 新地の食材をつか
 ったレストラン】**
 新地の食材をつかって
 作ったものが食べたい

【2.食べ物】
 いっぱい食べ物を店に
 置いてほしい

【1. 福田十二神楽】
 新地町の伝統が残っ
 てほしいから

【目目】 -数字:この項目について考えてきた人数(2人以上)
 ■:みんなで考えたこと・将来像・キーワードなど

赤字:残ってほしい 赤字:新しくってほしい

■発表内容

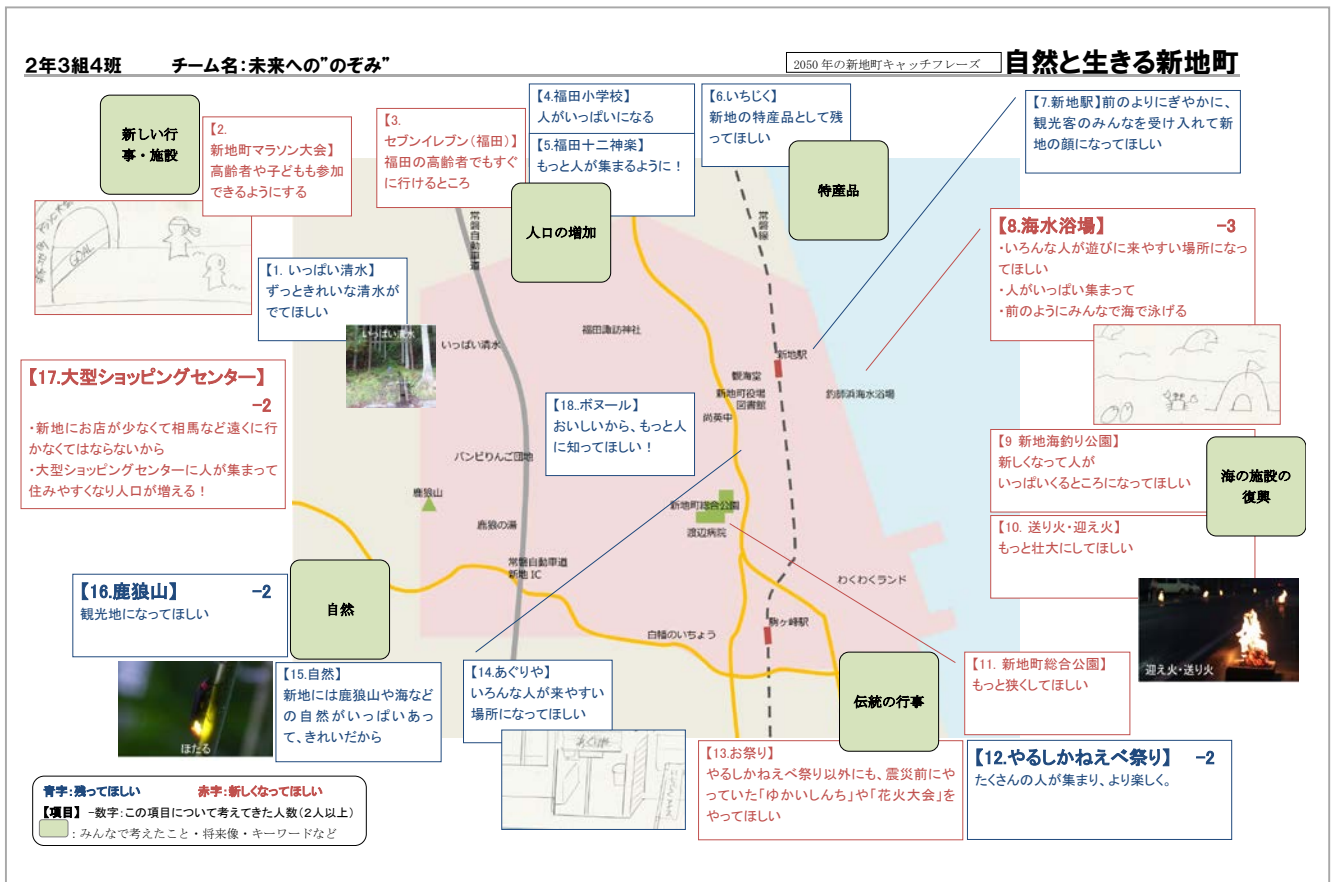


- 2050年までに残ってほしいこと
 鹿狼山は、新地町のシンボル。登ったりできる。自然あふれる姿を残したい。
 花火は新地町の大きなイベント。観光客を呼びたい。
- 2050年までに変わってほしいこと
 ショッピングモールがほしい。今、新地町に大きなショッピングモールがないから。
 本屋さんがほしい。今は仙台まで買いに行っているから、近くにできたらうれしい。

■班サポーターからのコメント

白木 裕斗 (国立環境研究所)

しっかり者の女子と創造力豊かな男子で、役割分担をしながら話し合いが進められていた。“鹿狼山”や“やるしかねえ祭り”など地域の伝統やシンボルを将来まで残したいという意見が多かった。また、新地の野菜や海の幸など新地町の持つ良いところを高めて、観光客を呼び込みたいという意見も見られた。変わってほしいこととしては、ショッピングセンターや本屋が駅前にできること、コンビニが増えることを望む声が多かった。将来自分が町のどこに住んでいるかをイメージしながら、当事者意識を持って議論できていたのが印象的だった。



■ 発表内容



- 僕たちが考えた「残っていてほしいもの」は自然。キャッチフレーズにもあるように、新地は自然に恵まれて、50年後にもたくさん恵まれていてほしいです。
- 具体的には鹿狼山やいっぱい清水など、祭りでは「やるしかねえべ祭り」などが残ってほしいです。また、人々が交流し合える行事や施設を新たにできればいいと考えました。たとえば大型ショッピングセンターや新しいお祭りなどを作るべきだと考えました。

■ 班サポーターからのコメント

小谷部 透 (東京工業大学大学院 社会理工学研究科)

班の皆さんは積極的に発言し、作業できていました。対立した意見はあまりありませんでしたが、全員が納得して 2050 年の新地町の未来をまとめられたと思います。結果として、海岸の復興と、祭りが続いてほしいと願う気持ちが、上手く発表に繋がりました。

また、特に印象深かったのは、人口を増やすという目的を持って、意見を持っていたことです。その気持ちを持って、自分に何が出来るかを考え、今後の人生に生かして行ってほしいです。

2年3組5班 チーム名:3代目 RYUSEI 2050年の新地町キャッチフレーズ **YWC (Yes, We Can!)**

【1. ラウンドワン】
いっぱい遊べるようにしたい

【2. 福田十二神楽】
もっと人が集まるように!

【3. 新地駅】津波でなくなってしまった新地駅をまたつくってほしい

【4. 海水浴場】
海水浴場をひらいて早く海に入りたい

【5. 送り火・迎え火】
もっと壮大にしてほしい

【6. 花火大会】

【7. かるがん文具店】
人がもってくるような店になってほしい

【8. かるがん文具店】
人がもってくるような店になってほしい

【9. やるしかねえべ祭り】
人と人がふれあえる場だから残してほしい

【10. ショッピングセンター】

【11. ゲームセンター】

【12. バッティングセンター】
だれもがこれるように広くしてほしい

【13. レストラン】
新地町の食材をつかったレストラン

【14. 鹿狼山】
観光客がいっぱい来てほしい

【15. バンビりんご園】
ブランド化

有名になってほしい

また作ってほしい

もっと壮大に火をおこしてほしい

新しくなって人がもってくるようになってほしい

青字:残してほしい 赤字:新しくなってほしい
【項目】-数字:この項目について考えてきた人数(2人以上)
□:みんなで考えたこと・将来像・キーワードなど
□:追加した残しておきたいところ

■発表内容



- 未来の新地のキャッチフレーズは、Yes, We Can.
- かるがん文具店はもっと新しくなってもっと人が来るようになってほしい。
- 迎え火と送り火はもっと壮大に火をおこしてほしい。津波でなくなってしまった新地駅をまたつくってほしい。
- バンビりんご園はおいしいりんごなので有名になってほしい。鹿狼山は観光客が少ないのでいっぱい来てほしい。

■班サポーターからのコメント

佐藤 千尋 (協和コンサルタンツ)

残したいもの、新たにしたいものとして各自が挙げてきた項目の多くが重なっていました。共同体としての町の意識が、きちんと新地っ子に受け継がれているようです。同じ項目でも、残しつつもっと良い変化をのぞむ部分もあり、一概な線引きは難しく感じました。地元の商店や送り火などの行事を残したいと思うのはなぜか、何に価値を認めているのか、という気づきまで至りませんでした。キャッチフレーズのとおり、各自が主体者として発展させていけるといいですね。

4.全体とりまとめ

(1) 意見の集計

話し合いで出された意見を集計した結果を以下の表 4-1 や図 4-1 に示す。「2050 年に残っていてほしいもの・こと」では、「鹿狼山」が最も多くなっており、「やるしかねえべ祭」が続いている。

「2050 年には新たになっていて (変わっていて) ほしいもの・こと」は、「海水浴場」と「ショッピングセンター」が最も多く、「ショッピングセンター」と「ショッピングモール」を合わせると 17 票となる。意見を分類した集計でも、「残したい」は自然、「新たにしたい」は商業施設が多くなっている。次ページからは、全ての意見を列挙した表 4-2 を示す。

表 4-1 ワークショップで出された意見の集計結果

■残したいランキング (票)

	もの・こと	残したい	新たにしたい
1位	鹿狼山	26	
2位	やるしかねえべ祭	17	2
3位	福田十二神楽	9	
4位	あぐりや	7	2
5位	図書館	6	4
6位	バンビりんご園	5	5
7位	手長明神の伝説	4	
7位	いっばい清水	4	
7位	渡辺病院	4	
7位	しんちゃんGO	4	2
7位	さくらや	4	
7位	観海堂	4	6
7位	かるがん文具店	4	5

表 4-1 ワークショップで出された意見の集計結果（つづき）

■新たにしたいランキング（票）

	もの・こと	残したい	新たにしたい
1位	海水浴場	2	10
2位	ショッピングセンター		10
3位	新地駅	3	9
4位	ショッピングモール		7
5位	海		6
5位	観海堂	4	6
7位	かるがん文具店	4	5
7位	バンビりんご園	5	5
9位	図書館	6	4
9位	遊園地		4
9位	街灯		4
11位	遊海新地	1	3
12位	公園	1	3

■分類別（票）

もの・こと	残したい	新たにしたい
自然	46	21
土地の名物	33	19
イベント	28	13
伝統行事	24	11
公共施設	24	25
商業施設	16	57
交通	7	15
よりどころ	2	
ゆるキャラ		3
全体		2
住宅		2
総計	180	168

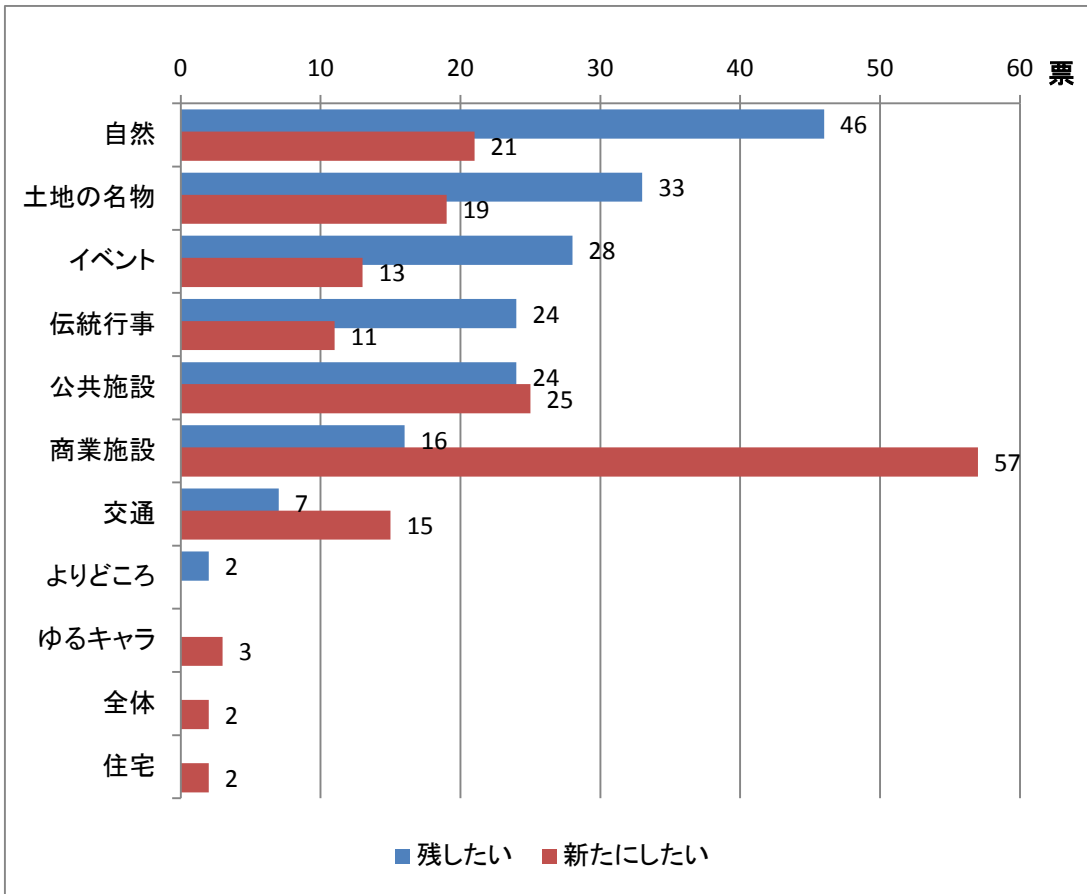


図 4-1 ワークショップで出された意見のとりまとめ

表 4-2 ワークショップで出された全ての意見（クラス・班順）

もの・こと	分類	関連する場所	残したい	新たにしたい	考えてきたこと	クラスー班
SSJ	商業施設	鹿野小学校あたり		1	SSJ（そうましんちジャパン）・テーマパークができる	1-1
あんこ地蔵	伝統行事		1		いつまでも見守ってほしい	1-1
海水浴場	自然	釣師浜海水浴場		1	にぎわってほしい	1-1
海水浴場	自然	釣師浜海水浴場		1	放射能がなくなり泳げる海になってほしい	1-1
かるがん文具店	土地の名物			1	全国、いや世界にチェーン店をひらく	1-1
鹿狼山	自然		2		緑豊かな自然が残ってほしい	1-1
新地駅	交通			1	新しくなって便利になってほしい	1-1
新地パークゴルフ場	公共施設			1	タイガーウッズがくる	1-1
新地町非公式ゆるキャラ	その他			1	ふなっしーのライバル	1-1
しんちゃんGO	交通			1	ヘリも使えるようになる	1-1
相馬地域開発記念緑地	公共施設			1	世界文化遺産登録	1-1
たこやきどんどん	土地の名物			1	リニューアル！	1-1
チュウリップ祭り	イベント	新地域跡		1	チュウリップ祭りが憩いの場になってほしい	1-1
釣師浜漁港	自然		1		また使われるようになってほしい	1-1
図書館	公共施設			1	本の種類がもっと増えてほしい	1-1
花火	イベント	釣師浜海水浴場			ごうかになってほしい	1-1
姫君と名馬の伝説	伝統行事	子眉嶺神社		1	姫君と名馬の伝説がアニメ化されたい	1-1
やるしかねえべ祭	イベント	新地町総合公園		1	EXILEがくる	1-1
わくわくランド	商業施設			1	新地のディズニーランドになる	1-1
鹿狼の湯	自然			1	VIP室ができる	1-1
新地ふるさと産業祭り	イベント	新地町役場		1	芦田まながくる	1-1
さくらや	土地の名物		1		うまいから	1-2
白樺のいちよう	土地の名物			1	大きくて素晴らしいのでのこってほしい	1-2
新地駅	交通			1	新しくしてほしい	1-2
新地貝塚	伝統行事		1		今のまま残したい	1-2
釣師浜海水浴場	自然				前のようにたくさんの方が訪れるようになってほしい	1-2
パン屋ほねーる	土地の名物		1		うまいから	1-2
福田十二神楽	伝統行事	福田神社		1	福田十二神楽、今までずっとやってきたから	1-2
観海堂	伝統行事			1	有名なところなど、町のシンボル的なところがあるので残してほしい	1-2
やるしかねえべ祭	イベント	新地町総合公園		1	復興の祭りから前のように釣師で花火をやってほしい	1-2
渡辺病院	公共施設			1	きれいだから	1-2
あぐりや	商業施設			1		1-3
海釣り公園	自然				また釣りができるようにしたい	1-3
海水浴場	自然	釣師浜海水浴場		1	また始まってほしい	1-3
海水浴場	自然	釣師浜海水浴場		1	きれいにしよ、また海辺に集まれるように。	1-3
かるがん文具店	土地の名物			1	全国に店を広げよう	1-3
かるがん文具店	土地の名物			1	他のエリアようになってほしい	1-3
カレイ	土地の名物			1	また食べれるようになりますように	1-3
公園	公共施設			1		1-3
鹿狼山	自然			1		1-3
尚菜中学校	公共施設			1	校庭がすんご〜く広がってほしい	1-3
ショッピングセンター	商業施設			1	食品、洋服、ゲーセン	1-3
人工芝がほしい	公共施設			1	サッカー場や公園など	1-3
新地駅	交通			1		1-3
手長明神の伝説	伝統行事	鹿狼山		1	この話が語りつがれてほしい	1-3
図書館	公共施設			1	本の種類や本を読むところを増やしてほしい	1-3
福田十二神楽	伝統行事	福田神社		1		1-3
観海堂	伝統行事					1-3
ゆかい新地花火	イベント	釣師浜海水浴場		1	また海辺に人が集まってほしい	1-3
りんご	土地の名物	パンビリン公園		1	りんごが美味しいから	1-3
鹿狼の湯	自然	q		1	人がいっぱい来てほしい	1-3
アニメイト	商業施設			1		1-4
いちたん	その他			1	もっとユニークにしてほしい	1-4
大型ショッピングモール	商業施設			1	人口が増えてほしい	1-4
大型ショッピングモール	商業施設			1	にぎやかになってほしい	1-4
街灯	公共施設	地区上に設置		1	暗すぎる…あぶない。	1-4
街灯	公共施設			1	夜道が暗いから、あかるくしてほしい	1-4
街灯	公共施設			1	少ないので、暗いから明るくしてほしい	1-4
街灯	公共施設			1		1-4
公園	公共施設					1-4
子眉嶺神社の伝説	伝統行事			1		1-4
鹿狼山	自然			1	観光地になってほしい	1-4
鹿狼山	自然			1	自然がいっぱい、あるがままでほしい	1-4
新幹線	交通	新地駅		1		1-4
新地駅	交通			1	今より使いやすくしてほしい	1-4
新地駅	交通			1	前使っていたときよりも使いやすくしてほしい	1-4
電車	交通	新地駅		1	とにかくなおす	1-4
動物園	公共施設			1	人が来てにぎわってほしい	1-4
動物園（保護施設）	公共施設			1		1-4
はたらく場所	ぜんぶ			1	はたらける場所がほしい	1-4
花火	イベント	釣師浜海水浴場			前やっていたみたいに海でも花火をやってもらいたい(夏祭りのこと)	1-4
花火	イベント			1	地震があつてから海で花火があがらなくなりましたが、未来では花火があがってほしい	1-4
マンション	住宅			1	人口が増えてほしい	1-4
やるしかねえべ祭	イベント	新地町総合公園		1	今の楽しいままで残してほしい	1-4
やるしかねえべ祭	イベント	新地町総合公園		1	毎年夏に今のようなお祭りを開いてほしい	1-4
よさこい	イベント			1	今のままで残してほしい、	1-4
よさこい	イベント			1	続いてほしい	1-4
渡辺病院	公共施設			1		1-4
遊海新地	イベント	釣師浜海水浴場		1	再開してにぎわってほしい	1-5
いちじく	土地の名物			1	お菓子や料理にいちじくを使用して他の地域にも広まってほしい	1-5
海	自然	釣師浜海水浴場		1	海がきれいになってほしい	1-5
駅前	公共施設	新地駅		1	町の中心を駅前にすると便利	1-5
綺麗な自然	自然			1	発展してほしい場所もあるが、新地は綺麗な自然が特徴だと思つてから自然を巡る観光などで人を呼び込むのもできると思つ	1-5
公園	公共施設			1	もっと小さな子供が楽しめる公園をつくってほしい	1-5
鹿狼山	自然			1	自然がいっぱいの山のままでほしい	1-5
鹿狼山	自然			1	新地の誇りだから残してほしい	1-5
鹿狼山	自然			1	今よりよくなってほしい	1-5

表 4-2 ワークショップで出された全ての意見（クラス・班順）（続き）

もの・こと	分類	関連する場所	残したい	新たにしたい	考えてきたこと	クラスー班
新地駅	交通			1	駅の周辺に公共施設を建ててほしい。	1-5
新地駅	交通			1	もっと電車の数が増えてほしい	1-5
新地貝塚	伝統行事		1		新地の古い歴史なので大切にしてほしい。手長明神の伝説もある	1-5
新地町総合公園	公共施設		1		人も集まり、にぎやかになってほしい	1-5
しんちゃんGO	交通		1		高齢化が進んでいくので台数を増やして利用しやすくする	1-5
図書館	公共施設			1	本がたくさん増えてほしい	1-5
パンピりんご園	土地の名物			1	有名になって大きくなってほしい	1-5
パンピりんご園	土地の名物			1	日本全体で有名になってほしい	1-5
姫君と名馬の伝説	伝統行事	子爵神社	1		ロマンチックな伝説なのに知らない人が多いので、キャラクターなどで親しんでもらいたい	1-5
真弓清水	自然		1		新地の名所に！	1-5
観海堂	伝統行事		1		新地の大切な歴史物なので再建してほしい	1-5
役場・図書館	公共施設		1		きれいな外観が変わらないでほしい	1-5
やるしかねえべ祭	イベント	新地町総合公園	2		有名になってほしい	1-5
渡辺病院	公共施設		1		医療機関をふやしてほしい	1-5
あぐりや	商業施設		1		お店が大きくなって残っていてほしい	2-1
いちじく・にら	土地の名物		1		新地町の特産品が残って、もっと美味しくなり、観光客のお土産になっているといいと思います	2-1
飲食店	商業施設			1	飲食店がとても少ないので、もっとふやしてほしい	2-1
カノウ山などの山や温泉	自然		1		登山ができる山や温泉があれば観光客が来てくれると思うので残してほしいです	2-1
公園	公共施設	新地町総合公園		1	総合公園のような、みんなが気軽に遊べる公園がもう少しほしい	2-1
コンビニ	商業施設		1			2-1
ショッピングセンター	商業施設			1	相馬にあるジャスコくらいにはお店が集まっているといいです	2-1
書店	商業施設			1		2-1
しんちゃんGO	交通		1		今よりもっと高齢化が進んでいると思うから、お年寄りにやさしい町になってほしい	2-1
しんちゃんGO	交通		1		もっとみんなが気軽に集れるようになってほしい	2-1
スポーツ店	商業施設			1	スポーツ店があってもいい	2-1
デパート	商業施設			1	買い物ができるように	2-1
図書館	公共施設					2-1
バスや電車	交通	新地駅		1	バスや電車がもっとあれば交通の便もよくなると思います	2-1
花火大会	イベント	約津浜海水浴場		1	震災前みたい（以上）に、大きなお祭りやみんながよく泳げるような海になってほしい	2-1
パンピりんご園	土地の名物		1		甘いりんごになってほしい	2-1
ポヌール	土地の名物		1		パンなどはおれが好きだから	2-1
やるしかねえべ祭	イベント	新地町総合公園		1	もっと花火を大規模にしてほしい	2-1
やるしかねえべ祭	イベント	新地町総合公園	1		高城東境あたりからも行ってみようかなと思えるくらいになってくれたらうれしいが、変化がなくてもいいと思うれい	2-1
りんご	土地の名物	パンピりんご園	1		昔からりんごはおいしい	2-1
海	自然	約津浜海水浴場		1	人がまた楽しく笑顔で遊べるような町	2-1
海	自然	約津浜海水浴場		1	きれいになってほしい	2-1
鹿狼山	自然		1		新地町のシンボルみたいな存在だから残してほしい	2-1
鹿狼山	自然		1			2-1
鹿狼山	自然		1		自然ゆたかになってほしい	2-1
復興した海	自然	約津浜海水浴場		1	海水浴場や干レイな砂浜があればいいと思います	2-1
あぐりや	商業施設		1		もっと大きくなって、みんなが行きやすい場所でのこってほしい	2-2
いちじく	土地の名物			1	いちじくがいちごにかわってほしい。似ているから。とくにちおとめ	2-2
いちじく	土地の名物			1	いちごアイスにかわってほしい	2-2
いちじくなどの物産品	土地の名物		1		新地の野菜など未来にも残してほしい。	2-2
駅（電車）	交通	新地駅		1	移動に便利な交通機関をととのえてほしい	2-2
かるがん文具店	土地の名物		1		昔のおかしを売っているので残してほしい	2-2
かるがん文具店	土地の名物			1	もっと大きくなってほしい	2-2
鹿狼山などの自然	自然		1		新地のきれいな自然が未来にも残っていてほしい	2-2
新地海釣り公園	公共施設		1		大きい魚が釣れるように	2-2
新地駅	交通			1	人が来やすいように干レイに新しくしてほしい	2-2
しんちゃんGO	交通			1		2-2
セブンイレブン	商業施設		1			2-2
手長明神の伝説	伝統行事		1			2-2
パンピりんご園	土地の名物		1		おいしいりんごをつくり続けてほしい	2-2
ファミリーマート	商業施設		1			2-2
やるしかねえべ祭	イベント	新地町総合公園	1		祭りがもっと大きくなってほしい	2-2
ゆるキャラ	その他			1	これはね〜わ	2-2
りんご	土地の名物	パンピりんご園	1		おいしい	2-2
りんご	土地の名物	パンピりんご園		1	ラ・フランスになってほしい	2-2
花火	イベント			1	もう少し盛大になってほしい	2-2
福田十二神楽	伝統行事	福田神社	1		残してほしい	2-2
あんど地蔵	伝統行事			1	有名になってほしい	2-3
エアリorモール	商業施設			1	杉目の住宅が新しくできた所にエアリかモールを建ててほしい	2-3
サイゼリア	商業施設			1	たこやきなどは買う人が少ないから、開店して、もっとサイゼリアみたいな安くおいしいレストランを建ててほしい	2-3
サイゼリア	商業施設			1	レストランがこの辺にないから、5件ぐらい建ててほしい	2-3
ショッピングセンター	商業施設			1	そういった建物が少ないから増やしてほしい	2-3
ショッピングセンター	商業施設			1	新たに建設し、町の活性化	2-3
新地の特産品	土地の名物		1		新地の注目すべき地域の特産品を残し、文化を継ぐようにしてほしい	2-3
新地ふるさと産業祭り	イベント	新地町役場		1	今のまま残してほしい	2-3
田んぼ・畑	よりどころ		1		僕はこの町の田や畑があるのどかな風景が好きだから	2-3
釣師浜漁港	自然		1			2-3
図書館	公共施設		1		図書館は町の多くの人が利用しているから	2-3
どんぐり	土地の名物		1		かろう山をのぼったあとに休める場所だから	2-3
観海堂	伝統行事			1	建て直してほしい	2-3
店	商業施設			1	エアリみたいな店ができてほしい	2-3
店の増加	商業施設			1	店を増加させ、町を活性化	2-3
よさこい	イベント		1		グローバル的	2-3
花火大会	イベント	約津浜海水浴場	1		すぐきれいだから。家族で見にきたい。	2-3
花火大会	イベント	約津浜海水浴場		1	前よりもっと大きい花火で新地を活気づける	2-3
海側の土地	自然			1	いろいろな店が増えてほしい	2-3
海側の土地	自然		1		夏の夜には花火ができるように、除染…etc	2-3
自然	自然	鹿狼山	1		もっと増やしてほしい。こう…花とか	2-3
福田十二神楽	伝統行事	福田神社	1		ずっと続いてほしい。福田のお祭りがすごく楽しいから。	2-3
福田十二神楽	伝統行事		1		伝統的なことなので残っていてほしい	2-3
遊海新地	イベント	約津浜海水浴場		1	前は船のパレードや花火、店などがあって楽しかったのだから、またやってほしい	2-3
あぐりや	商業施設			1	お店を大きくしてほしい	2-4
いちじく	土地の名物		1		子どもでも食べやすい、おやつっぽいものを作ってほしい	2-4

表 4-2 ワークショップで出された全ての意見（クラス・班順）（続き）

もの・こと	分類	関連する場所	残したい	新たにしたい	考えてきたこと	クラス一班
いっぱい清水	自然		1		震災で水道が使えないとき利用した	2-4
大きい店	商業施設			1	すぐに買い物に行けるようにしてほしい	2-4
海水浴場	自然	釣師浜海水浴場		1	前のように海水浴場ができてほしい	2-4
海水浴場	自然	釣師浜海水浴場		1	前の新地町のように海水浴場ができてほしい	2-4
公園	公共施設	公園		1	遊具をふやす	2-4
子眉嶺神社	伝統行事		1		伝統的なものなので、残っていてほしい	2-4
コンビニ	商業施設		1			2-4
さくら	土地の名物			1	新種改良してみたら？	2-4
さくらや	土地の名物		1		食べ物おいしいから	2-4
鹿狼山	自然		1		そのまま（ありのままの姿で！）	2-4
白幡のいちよう	土地の名物		1		古くからある。すごくきれいだから	2-4
新地駅	交通			1	電車で移動できるようにしてほしい	2-4
新地パークゴルフ場	公共施設		1		年寄りにゴルフが人気だから	2-4
新地町総合公園	公共施設		1		小さい子どもがいっぱい体を動かして遊べる公園であってほしい	2-4
しんちゃんGO	交通		1		お年寄りの方が気軽に利用できるから	2-4
スーパー	商業施設			1	新地には今あまり大きいお店がないので、今後スーパーやファミレスなどの大きなお店をふやしてほしい	2-4
チュウリップ祭り	イベント	新地城跡	1		きれいなチュウリップがたくさん咲いているから（いろいろな種類のチュウリップ）	2-4
釣師浜漁港	自然			1	遊覧船をつくってみたら？	2-4
手長明神の伝説	伝統行事		1		小学校で1度聞いたことがあるが、おもしろかったから、いろいろな人を知ってほしい	2-4
パンピリンご園	土地の名物		1		パンピリンゴはたくさんみつが入っていて、とてもおいしいから	2-4
パンピリンご園	土地の名物		1		りんごが好きだから～。アップルー!!!!!!	2-4
フレスコキキチ	商業施設			1	デパートになってほしい	2-4
ホヌール	土地の名物		1		パンが好きだから～	2-4
観海堂	伝統行事			1	新しく建ててほしい	2-4
やるしかねえべ祭	イベント	新地町総合公園	1		みんなが楽しめる祭りであってほしい	2-4
やるしかねえべ祭	イベント	新地町総合公園	1		たくさんの人に来てもらえるように出店をもっと出してほしい	2-4
遊海新地	イベント	釣師浜海水浴場		1	前までのように海で花火をあげられるようにしてほしい！	2-4
あぐりや	商業施設		1		新地一番の市場なので、このまま残してほしい	2-5
イオンモール	商業施設			1	遠くに行かなくても気軽に買い物できるから	2-5
海	自然	釣師浜海水浴場		1	みんなが遊べるようにきれいになってほしい	2-5
海	自然	釣師浜海水浴場		1	みんなが泳げるようになってほしい	2-5
海	自然	釣師浜海水浴場		1	多くの人が楽しく泳げる海になってほしい	2-5
学校	公共施設	南英中学校		1	校舎がきれいになってほしい	2-5
コンビニ	商業施設		1		もう少し品物が多くなってほしい	2-5
さくら	土地の名物		1		とてもきれいだし、みんなくるから	2-5
さくらや	土地の名物		1		おいしい食べ物を残してほしい	2-5
ショッピングモール	商業施設			1	たくさんの人でにぎわっているショッピングモール	2-5
ショッピングモール	商業施設			1	近くで買い物ができるように	2-5
白幡のいちよう	土地の名物		1		残っていてほしい	2-5
スーパー	商業施設			1	大きいスーパーがある	2-5
ゼビスポ	商業施設			1	なるべく近くにあってほしい	2-5
総合体育館	公共施設		1		もう少し大きくなってほしい	2-5
大学	公共施設			1	お金をかけずに歩いてでも行けるようになってほしい	2-5
デパート	商業施設			1	今、人口が少ないので増えてほしい	2-5
図書館	公共施設		1		今みたいに、みんなが気軽にきて、本を借りられるようになってほしい	2-5
図書館	公共施設		1		本の数がもっとたくさん種類になってほしい	2-5
どんどん	土地の名物		1		おいしいたこ焼きがいつまでも食べたい	2-5
盆踊り	伝統行事		1		みんなが笑顔になるし、いろいろな人とふれ合うから、残してほしい	2-5
町	ぜんぶ			1	町が大きくなってほしい	2-5
丸久精肉店	土地の名物			1	また再オープンして、おいしい肉を人々にくわせてほしい。	2-5
森	自然	鹿狼山	1		森が残っていてほしい	2-5
やるしかねえべ祭	イベント	新地町総合公園	1		今みたいに人がたくさんくる	2-5
やるしかねえべ祭	イベント	新地町総合公園	1		今のように賑わってほしい	2-5
わくわくランド	商業施設		1		残っていてほしい	2-5
遊辺病院	公共施設		1			2-5
新地ふるさと産業祭り	イベント	新地町役場	1		残っていてほしい	2-5
あぐりや	商業施設		1		おとずれの人が多くなってほしい	3-1
あぐりや	商業施設		1		気軽に利用できるようになってほしい	3-1
新たな観光地	商業施設			1	遠く県からの観光客が来てほしいから	3-1
回転寿司	商業施設			1	新しくつくってほしい	3-1
さくらや	土地の名物		1		味がかわらないでほしい	3-1
鹿狼山	自然		1		自然豊かな町になってほしい	3-1
鹿狼山	自然		1		今のままになってほしい	3-1
柔剣道場	公共施設		1		今のままになってほしい	3-1
ショッピングセンター	商業施設			1	フレスコキキチよりも品揃えを豊富にしてほしい	3-1
ショッピングセンター	商業施設			1	皆が気軽に買い物に行けるように	3-1
ショッピングモール	商業施設			1	作ってほしい	3-1
新地小学校	公共施設		1		生徒がたくさんいる	3-1
セブンイレブン	商業施設			1	かろう山に近い人がすぐ行ける場所にほしい	3-1
総合体育館	公共施設		1		みんなが楽しく体を動かせるようになってほしい	3-1
図書館	公共施設		1		きれいなままであってほしい	3-1
図書館	公共施設			1	リニューアル的なことになってほしい	3-1
福田小学校	公共施設		1		年々、人々が減少しているから、福田小がなくなる可能性がたかいから	3-1
観海堂	伝統行事			1	復元されてほしい	3-1
やるしかねえべ祭	イベント	新地町総合公園	1		たくさんの人が集まる	3-1
遊園地	商業施設			1	U S J 的な。観光に人々が訪れるように。	3-1
海水浴場	自然	釣師浜海水浴場	1		夏、海水泳ができるようになってほしい	3-1
海水浴場	自然	釣師浜海水浴場	1		前のようにみんなまで海でおよげる	3-1
大きなお店	商業施設			1	相馬などに行かなくても買い物ができる。	3-1
あぐりや	商業施設			1	いちじく、トマト、いちじく。今の店やお店がもっと大きくなって早くて新鮮でおいしい野菜をもっとたくさんの人に売って新地町のすそ野を伸ばってほしい	3-2
いっぱい清水	自然		1		震災の時に水をとりに入った。役に立つから。	3-2
いっぱい清水	自然		1		観光客がいっぱいきてほしい	3-2
鹿狼山	自然		1		自然を残す活動をイベントにとりこみ、観光客をふやす	3-2
鹿狼山	自然		1		観光客でいっぱいになってほしい	3-2
鹿狼山	自然		1		鹿狼山自体はこれからはずっと残していきたい。登山客や観光客がもっと増えるようイベントを企画してほしい	3-2
鹿狼山	自然		1		きれいな自然を残してほしい	3-2
ショッピングモール	商業施設			1	遠出しなくても地域の人が気軽に買い物ができるように品揃え抜群のショッピングモールができてほしい！	3-2
ショッピングモール	商業施設			1	遠出しなくても近場で買い物が増えたいようになってほしい	3-2

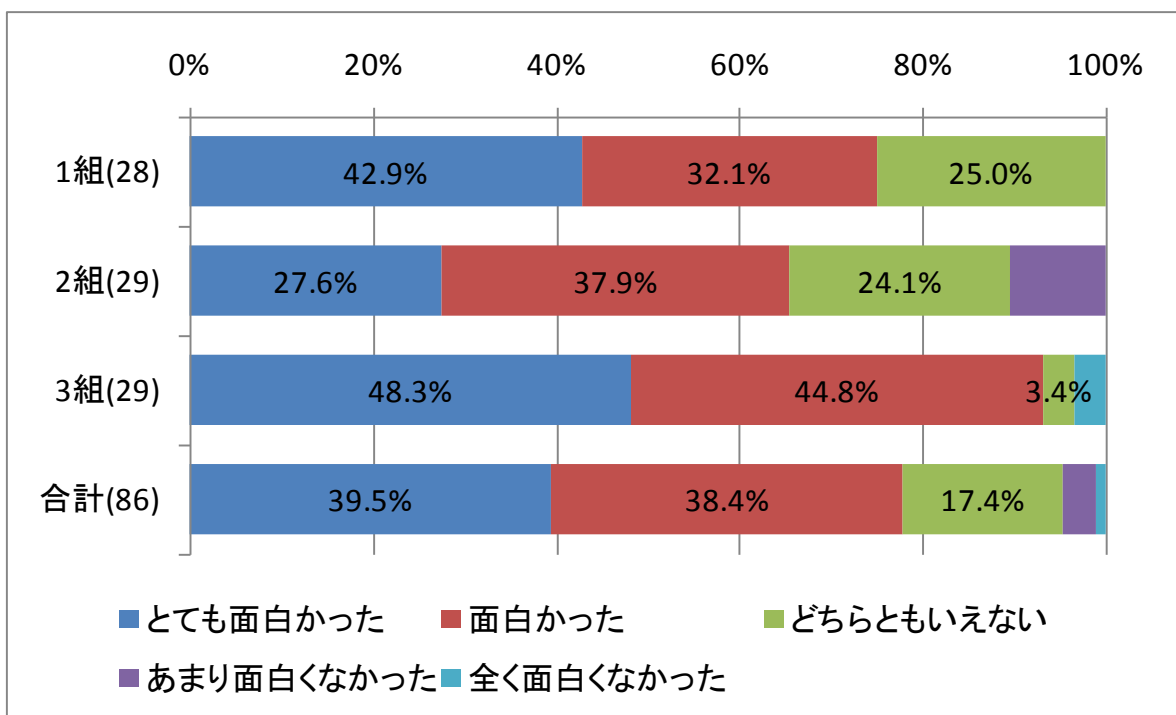
表 4-2 ワークショップで出された全ての意見（クラス・班順）（続き）

もの・こと	分類	関連する場所	残したい	新たにしたい	考えてきたこと	クラスー班
ショッピングモール	商業施設			1	地域のみなさんが気軽に買い物できるように品揃えばつぐんのショッピングモールができてほしい	3-2
ショッピングモール	商業施設			1	買い物ができるところがほしい	3-2
新地駅	交通	新地駅		1	今までより使いやすく、便利で人々が集まる場所になってほしい	3-2
新地町総合公園	公共施設		1		今とかわらず50年後また見たとき、昔の思い出をおもいだしたい	3-2
新地町総合公園	公共施設			1	誰でも気軽に利用したり、おしゃべりしたりできるようにしてほしい	3-2
中里公園	公共施設			1	ちょっと広くして遊具を増やしてほしい	3-2
中里住宅	住宅			1	人口をふやすために住宅を増す	3-2
観海堂	伝統行事		1		もういっかい復元してほしい	3-2
観海堂	伝統行事		1	1	今はないけれど、ふくげんして、また新地町の学校のれきしをつたえてほしい	3-2
観海堂	伝統行事		1	1	またふくげんしてほしい。それで新地町にのこってほしい	3-2
遊園地	商業施設			1	大人も子どもも楽しめる活気あふれる場所にしてほしい。同時に新地町のよさを生かしてもらえるイベントも企画してほしい	3-2
遊園地	商業施設			1	遊園地（パーク的なもの）。子どもでも大人でも楽しめる場ができればいいと思う	3-2
遊園地	商業施設			1	遊園地（アトラクション、パーク的なもの）ゆうれんちをつくって、たくさんの人をよび、新地町を活性化させて、同時に新地町の良さを生かしてもらおう	3-2
遊海新地	イベント	釣師浜水浴場		1	震災後なくなってしまったけれど、地域の方々とふれあいのため、また再開してほしい	3-2
わくわくランド	商業施設		1		大人も子どもも楽しめるような活気のある場所にしてほしい。お祭りなどのイベントも！	3-2
室内プール	公共施設			1	町の外からも多く人がくるとなるようなプールになってほしい	3-2
福田十二神楽	伝統行事	福田諏訪神社	1		大人になってまた見たいと思っても、無くなっていると見れないから	3-2
おじいちゃんの家	よりどころ		1		住んでいたところだから	3-3
かるがん文具店	土地の名物		1		菓子が安くておいしいから。	3-3
きっさてん	商業施設			1	とちどちと集まったりゆっくりできるから	3-3
コンビニ	商業施設			1	福田のほうにお店がないから	3-3
鹿狼の湯	自然		1		登ったあとに入りたいから	3-3
鹿狼の湯	自然		1		いい湯だから	3-3
鹿狼の湯	自然		1	1	あたたかくて落ち着いて入れるから	3-3
鹿狼山	自然		1		のぼるのが楽しいから	3-3
鹿狼山	自然		1		今のままでいてほしい	3-3
ショッピングセンター	商業施設			1	新しくつくってほしい	3-3
ショッピングセンター	商業施設			1	わざわざ遠くに行くのが大変だから	3-3
ショッピングセンター	商業施設			1	新地町にもショッピングモールがあったら便利	3-3
白幡のいちよう	土地の名物		1		このまま寿命を延ばしてほしい	3-3
新地駅	交通	新地駅	1		遠出するときの移動が楽になるから。新地町のシンボル	3-3
新地の食材をつかったレストラン	土地の名物			1	新地の食材をつかって作ったものが食べたい	3-3
食べ物	土地の名物			1	いっぱい食べ物を店に置いてほしい	3-3
図書館	公共施設		1		本を借りたい時に行けるから	3-3
花火	イベント		1		夏の風物詩で、花火をみるといやされるから。	3-3
パンピりんご園	土地の名物			1	ブランド化できるようにしてほしい	3-3
パンピりんご園	土地の名物		1		りんごがおいしいから	3-3
福田十二神楽	伝統行事	福田諏訪神社	1		新地町の伝統が残ってほしいから	3-3
ボーリング	商業施設		1		投げたて楽しくしたいから	3-3
はたる	自然		1		はたるはきれいなところにしか住まないから	3-3
本屋	商業施設			1	新しくつくってほしい	3-3
やるしかねえべ祭	イベント	新地町総合公園	1		祭りがもりあがってほしい	3-3
やるしかねえべ祭	イベント	新地町総合公園	1		夏の夜空に花火はかせないし、友達とかと一緒にすごせるから	3-3
手長明神の伝説	伝統行事		1		昔のことが好きだから	3-3
あぐりや	商業施設		1		いろんな人が来やすい場所になってほしい	3-4
いちじく	土地の名物		1		新地の特産品として残してほしい	3-4
いっぱい清水	自然		1		ずっときれいな清水がでてほしい	3-4
大型ショッピングセンター	商業施設			1	大型ショッピングセンターに人が集まって住みやすくなり人口が増える！	3-4
大型ショッピングセンター	商業施設			1	新地にお店が少なくて相馬など遠くに行かなくてはならないから	3-4
迎え火・送り火	伝統行事	釣師浜漁港	1		もっと壮大にしてほしい	3-4
お祭り	イベント		1		やるしかねえべ祭以外にも、震災前にやっていた「ゆかいしんち」や「花火大会」をやってほしい	3-4
海水浴場	自然	釣師浜水浴場	1		いろんな人が遊びに来やすい場所になってほしい	3-4
海水浴場	自然	釣師浜水浴場	1		人がいっぱい集まって	3-4
海水浴場	自然	釣師浜水浴場	1		前のようにみんなで海で泳げる	3-4
鹿狼山	自然		1		観光地になってほしい	3-4
鹿狼山	自然		1			3-4
自然	自然		1		新地には鹿狼山や海などの自然がいっぱいあって、きれいだから	3-4
新地海釣り公園	公共施設	新地海釣り公園	1		新しくなって人がいっぱいいくところになってほしい	3-4
新地駅	交通		1		前のよりにぎやかに、観光客のみんなを受け入れて新地の顔になってほしい	3-4
新地町マラソン大会	イベント			1	高齢者や子どもも参加できるようにする	3-4
セブンイレブン（福田）	商業施設			1	福田の高齢者でもすぐに行けるところ	3-4
福田十二神楽	伝統行事	福田諏訪神社	1		もっと人が集まるように！	3-4
福田小学校	公共施設		1		人がいっぱいになる	3-4
ポヌール	土地の名物		1		おいしいから、もっと人に知ってほしい！	3-4
やるしかねえべ祭	イベント	新地町総合公園	1		たくさんの方が集まり、より楽しく。	3-4
やるしかねえべ祭	イベント	新地町総合公園	1			3-4
新地町総合公園	公共施設			1	もっと狭くしてほしい	3-4
海水浴場	自然	釣師浜水浴場	1			3-5
かるがん文具店	土地の名物			2	人がもっとくるような店になってほしい	3-5
かるがん文具店	土地の名物		1		人がもっとくるような店になってほしい	3-5
ゲームセンター	商業施設			1		3-5
鹿狼山	自然		4		観光客がいっぱい来てほしい	3-5
ショッピングセンター	商業施設			1		3-5
新地駅	交通			1	津波でなくなってしまった新地駅をまたつくってほしい	3-5
パチンコセンター	商業施設			1	だれもがこれるように広くしてほしい	3-5
パンピりんご園	土地の名物			2	ブランド化	3-5
やるしかねえべ祭	イベント	新地町総合公園	1		人と人がふれあえる場だから残してほしい	3-5
ラウンドワン	商業施設			1	いっぱい遊べるようにしたい	3-5
レストラン	商業施設		1			3-5
花火大会	イベント	釣師浜水浴場	1			3-5
迎え火・送り火	伝統行事	釣師浜漁港	1	2	もっと壮大に火をおこしてほしい	3-5
福田十二神楽	伝統行事	福田諏訪神社	1			3-5

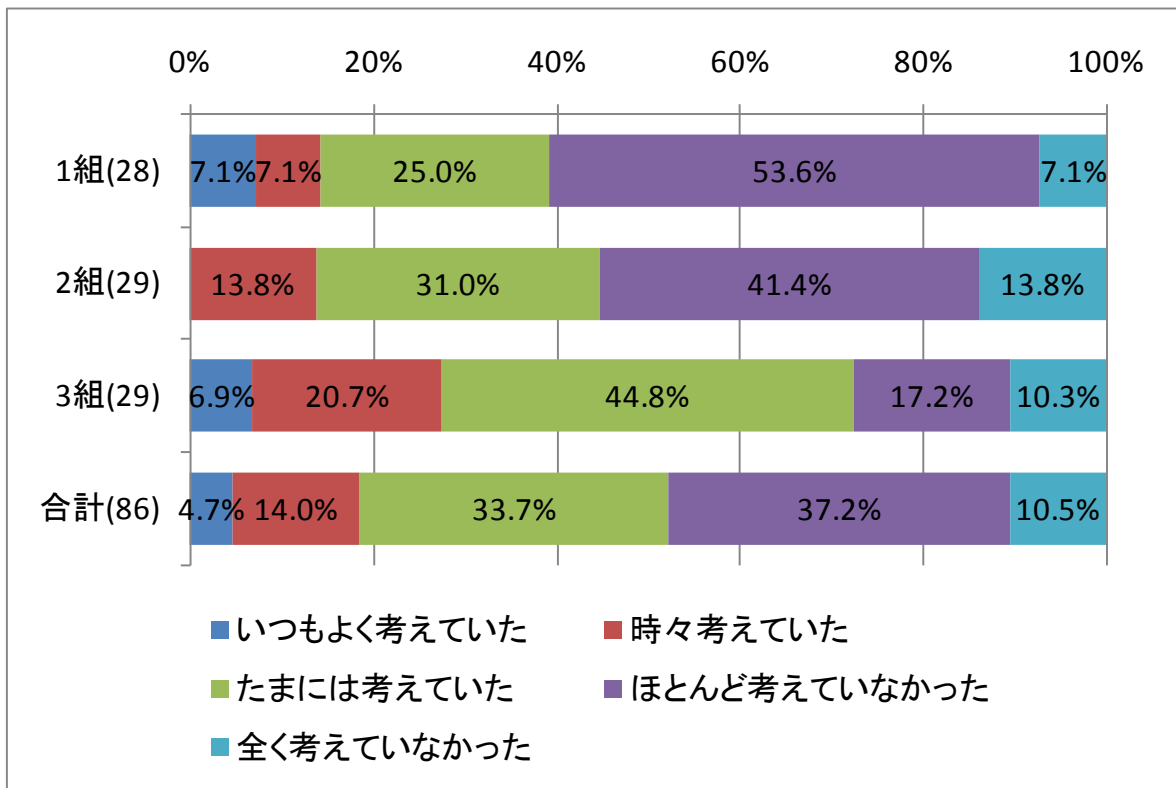
5. アンケート調査結果

中学生のワークショップや将来への関心を把握し、今後の参考とするため、アンケートを実施した結果は、次の通りであった。なお、アンケート票は、付録3に示す。

【設問1】本日のワークショップに参加しての感想について、もっとも当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください(n=86)



【設問 2】1月23日の新地町の将来像を考えるワークショップの後、あなたは新地町の将来(2050年)についてどの程度考えていたでしょう。(n=86)

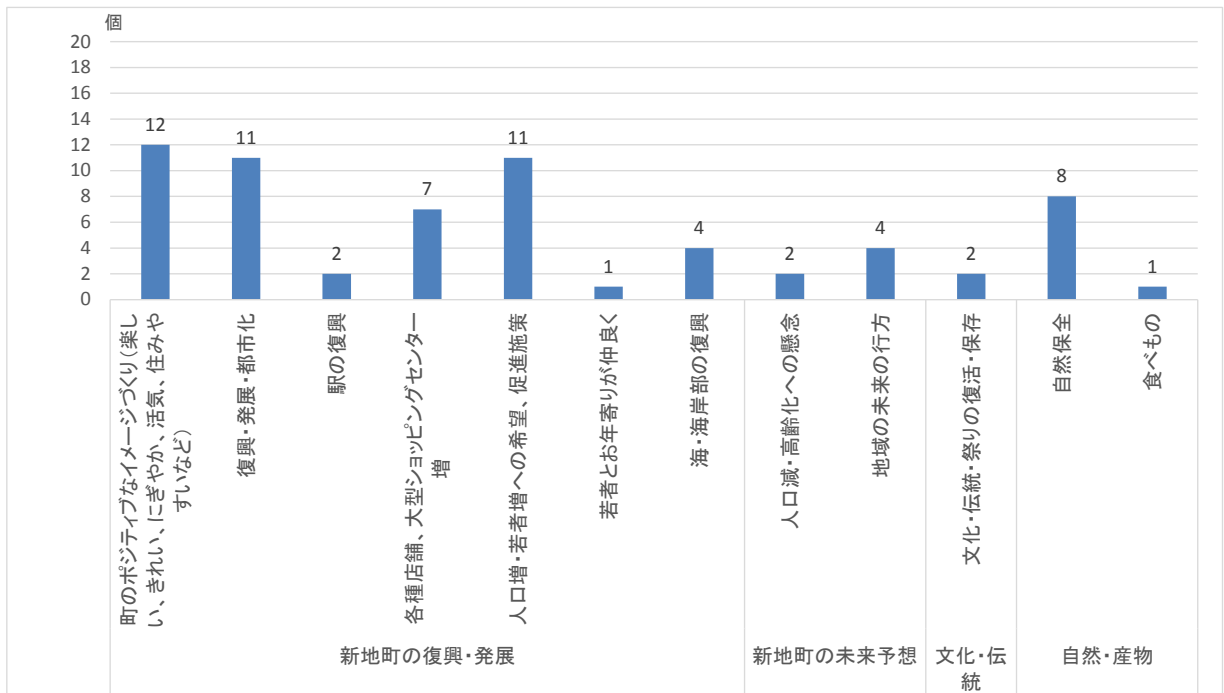


【設問 3】 2の質問で 1.2.3 番に○をつけた人にお聞きします。新地町の将来（2050年）についてどのようなことを考えていましたか。（以下、クラス順に出された意見を列挙）

- ・ 楽しくきれいな新地町
- ・ 釣師浜がどうなるのかなということを考えた
- ・ もっと人口が増えるといい
- ・ もっと東京のような感じ
- ・ 今よりもさらに発展してほしい
- ・ 自然
- ・ 食べ物
- ・ 高齢化がすすんでしまうのでは？
- ・ 文化、伝統や祭りがどうなっているか
- ・ 今は働く場所や大きな施設がないから、人口が少なく、あまり人が来ないから働く場所を増やし、人が住みやすい町にしてほしい
- ・ 大きなお店ができてほしい
- ・ 大きなファミレスやショップをたててほしい
- ・ もっと人口を増やし、店を増加させ、にぎやかな感じにする
- ・ どうやったら楽しい新地町でいられるか考えた
- ・ 新地の祭りは人がいっぱい楽しいので 2050 年まで残ってほしい
- ・ なにごともなく海で泳げるようになるのか？
- ・ 今より人口は増えているのだろうか？
- ・ コンビニやデパートが増えてほしい
- ・ 自然もある程度、残ってほしい
- ・ 新地町の未来をイメージアップした
- ・ 新地の町は何年後かには、きれいになっているのか？
- ・ 駅が新しくなり、新しい店ができたりしているのだろうか？
- ・ より未来都市を発展させること
- ・ 今の新地町よりよい新地町を築くこと
- ・ 今よりも近代化していて、若い人が多く、としよりと若者がみんな仲良い町になってほしい
- ・ 震災前のようなきれいな海、自然など。
- ・ 復興
- ・ 活気あふれる新地町になるために、なにが足りないのかと考えた
- ・ 新地町が新しくできる
- ・ 本屋などができる
- ・ 人口をふやすための行事や施設をつくるべきだと考えた
- ・ 自然ゆたかな町
- ・ 都市化が進んでいる
- ・ いろいろな地域がどのようになっているか考えた

- ・もつとにぎわっている町づくりについて
- ・新地町の人口はどうなっているか
- ・新地町の人口が減少して相馬市と一緒にになっている
- ・何がつくれるのかなど
- ・自然に対すること
- ・50年後の新地町が今よりもりあがる町
- ・人口の増加や活性化
- ・50年後も住みやすい新地町にし、発展している町
- ・50年後の新地町がどう変化しているのかということ
- ・新地町の自然や人工などを考えることができ楽しみにってきた。

設問3で記載された意見の概要について分類・整理したグラフを以下に示す。これは、テキストマイニングの手法を使い、どのような言葉がアンケートの記述に出て来ているかを分類・計数してグラフ化したものである。

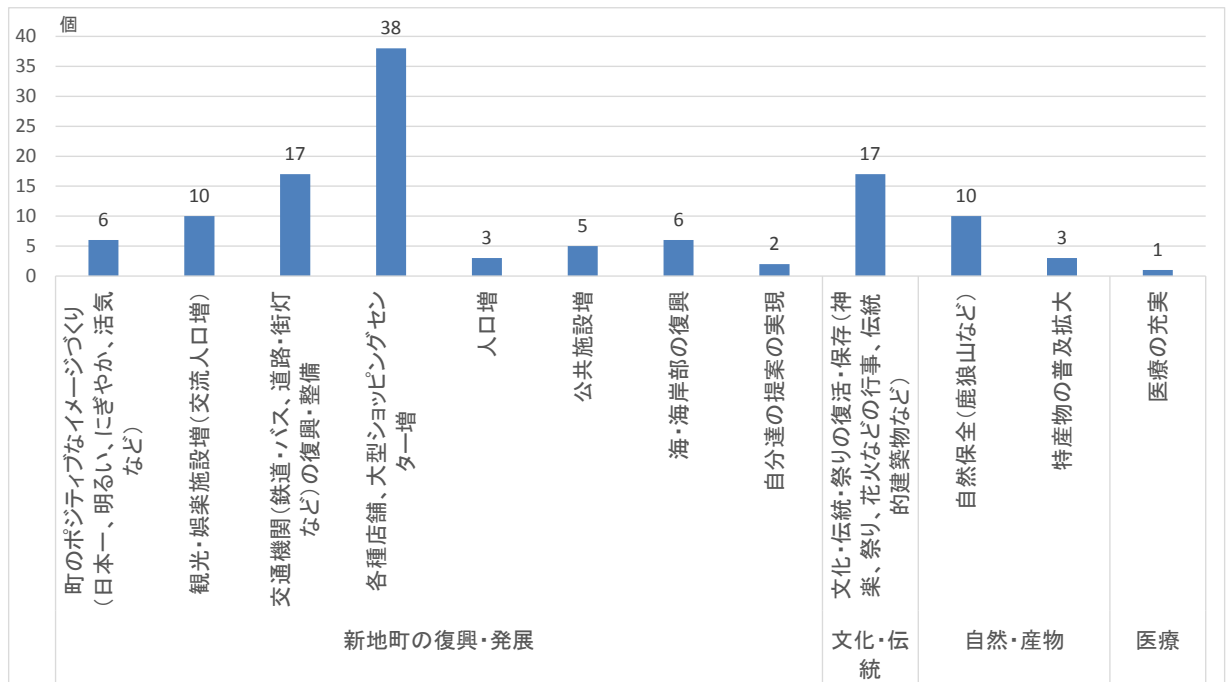


【設問 4】 本日の班での話し合いや、ほかの班の発表を聞いて、2050年に絶対実現してほしいと思ったことがあれば、書いてください。(以下、クラス順に出された意見を列挙)

- ・かぐらは2050年まで残ってほしい
- ・福田十二神楽はこれからずっと続いていくこと
- ・釣師浜海水浴場の復活
- ・なにか日本一というものをつくりたい
- ・SSJ (シンチ・ソウマ・ジャパン) ができてほしい
- ・海の近くの復興が一番の目標だと思った
- ・駅がまた使えるように
- ・人がたくさん増えて、とても明るい町になってほしい
- ・伝統行事が残ってほしい
- ・特産物が広まってほしい
- ・新地町の特産物をもっとほかの町にPRしてほしい
- ・自然を生かすこと
- ・自然を残してほしい。壊さないで！絶対！活かしてほしい
- ・暗くてあぶないため外灯がほしい
- ・実用的なものは実現してほしい
- ・大型ショッピングモール
- ・観海堂の再建設
- ・遊海新地
- ・デパート
- ・ファミレス
- ・小児科
- ・駅ができて、でんしゃで移動できるようになってほしい
- ・マクドナルド
- ・かつぱずし
- ・新地駅が復活してほしい
- ・公共の施設がもっとほしい
- ・商業施設、ショッピングモールなどの大きいものができればいいな
- ・伝統行事、神楽や花火大会がもっとパワーアップしてほしいと思う
- ・お店をもっと増やす
- ・人口をもっと増やしたい
- ・浜が使えるようになり、夏花火などを海でうちあげられるようになってほしい
- ・花火大会をまた再開してほしい
- ・丸久精肉店が再オープンしてほしい
- ・鹿狼山や祭りが残ってほしい
- ・にぎやかな町になってほしい

-
- ・海でなにごともなくみんなが泳げるようになってほしい
 - ・自然を残しつつ、お祭りやコンビニがもっとできてにぎやかになるといい
 - ・バス、電車
 - ・交通の良いところになってほしい
 - ・セブンイレブンの強化
 - ・海に続く道や、海をキレイにしてほしい
 - ・自然がそのまま残ってほしい
 - ・いろんな施設がふえてほしい
 - ・ショッピングセンター（買い物施設）ができてほしい
 - ・鹿狼山など今のままで2050年まで残ってほしい
 - ・人が多く活気であふれていて、自然がいっぱい
 - ・新地駅の復興
 - ・ホテル
 - ・陸上競技場
 - ・遊園地
 - ・キャンプ場
 - ・新しい（人の集まる）行事、施設をつくる
 - ・震災でなくなってしまった行事や建物がまたあるようになってほしい
 - ・海水浴場
 - ・鹿狼山にいろんなものができ、ひとがたくさん来てくれるようになってほしい
 - ・観光地
 - ・新地町には本を借りるところが図書館しかないので残ってほしい
 - ・新しくできてほしいものを絶対実現してほしい
 - ・伝統的な行事など

設問4で記載された意見の概要について分類・整理したグラフを以下に示す。これは、テキストマイニングの手法を使い、どのような言葉がアンケートの記述に出て来ているかを分類・計数してグラフ化したものである。

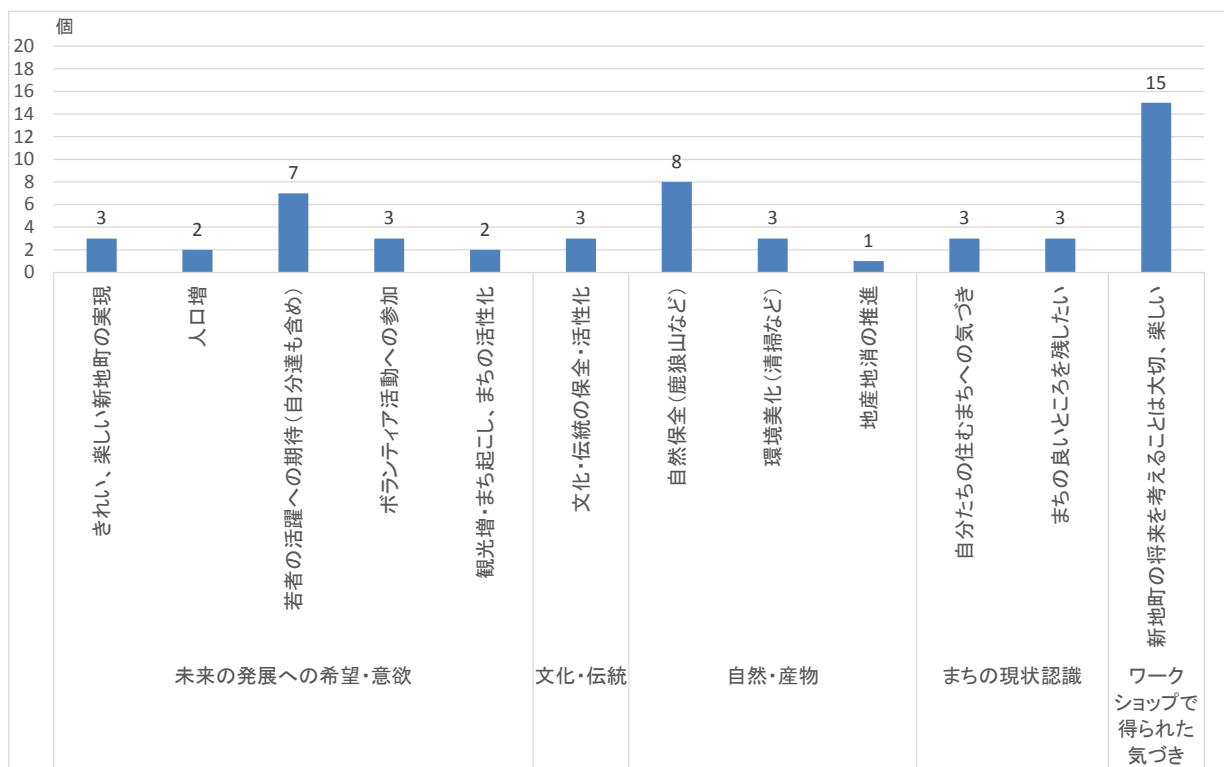


【設問 5】本日のワークショップを通じて、新地町の将来を考えることについて印象に残ったことや、将来のために取り組んでみようと思ったことがあれば、自由に書いてください。(以下、クラス順に出された意見を列挙)

- ・新地町をきれいにし、人口がふえてほしい
- ・新地町をきれいにしたい
- ・楽しい町
- ・これからは自分たちも、この町を支えていきたい
- ・新地の将来を考えることは楽しいと思った
- ・若い人がどんどん活発にはたらくべき
- ・将来のために出来ることがあったらやってみたい
- ・若い人の力が必要だと思った
- ・50年後はあまり遠くないから、しっかりと行くんでいきたい
- ・今回の授業で新地町の将来について色々考える事ができました
- ・もっと町のことを考えて、新地町をかえる
- ・もっと町のことを考えてみようと思った
- ・知らなかったところもあった
- ・いったことのない所に行こうとおもった
- ・新地町の将来を考える事は、大切だと思った
- ・自然豊かな新地町であってほしい
- ・やっぱり1番は新地町の良い所を残すため、今からでも心がける
- ・自然を守りたい
- ・新地ならではの発展方法もたくさんあるんだなと思いました
- ・ごみを見つけたらひろう
- ・震災から不便なことが多いと実感した
- ・ボランティアに入って震災のために頑張ってみたい
- ・自然はやはり残ってほしいと思ったので、そこらへんに落ちているゴミをひろい、自然を大事にしたいと思う
- ・祭りに参加して、新地町を有名にする
- ・人口をさらに増やすだけでなく、かんこう客をたくさん増やして、町おこしを活性化したらいいと思う
- ・祭りがいっぱいあったら伝統ができていいと思った
- ・自然を大切に将来自然が多くなってほしい
- ・やはり自然や伝統文化は大事だと思った
- ・すごくためになった
- ・残っていてほしいものがいっぱいあることが印象に残った
- ・新地で働く
- ・自然を大切にすること

- ・自然豊かというので鹿狼山は残っていてほしいし、登る人ももっとふえてほしいと思ったので、ボランティア活動などで町や山の掃除など町のためになることに参加したい
- ・ほとんどの班が”自然豊かであってほしい”と書いていたので、自分も意識してみようと思います
- ・地産地消する、地元の良いところを知る
- ・ボランティアとかで出来ることがあったら何でも取り組みたい
- ・自分の考えや他人の意見を確認できてよかった
- ・みんなで協力して意見を出し合えたのがよかった
- ・一人ひとりが意見を出していく
- ・周りの友達なども同じような考えだったので、みんなで意見を出し合うことが大切だと思った
- ・これからどんどん新地町が発展してほしいと思う
- ・みんなの意見を聞いてまだまだ新地町は発展していくと思いました
- ・親や町の人にどんどん意見を言いたいと思った

設問5で記載された意見の概要について分類・整理したグラフを以下に示す。これは、テキストマイニングの手法を使い、どのような言葉がアンケートの記述に出て来ているかを分類・計数してグラフ化したものである。



6.まとめと今後の課題

2014年1月に開催したワークショップに引き続き本ワークショップでも、生徒の皆さんはとても協力的で、1時間30分という非常に短い時間にもかかわらず、各班での話し合いにおいて新地町の将来像について活発に意見交換や対話を重ね、取りまとめを行い、得られた成果を発表することができた。特に多くの意見が集中したのは、大型ショッピングモールやコンビニ、飲食店などの商業施設、駅の再建・新幹線やバスなどの交通機関、ゲームセンターやテーマパークなどの娯楽施設の整備などであり、生活を便利にする施設や人が集まる施設への強い願望や、観光振興による交流人口の増加を望む声が多く出されていた。その一方、生徒の皆さんにとって馴染み深い施設・店舗や特産物、鹿狼山や海（釣師浜）などの自然、地域に傳承されている神楽や伝説などの文化・伝統や祭事等、既存の有形無形資産への愛着を強く持ち、未来に向けて残していきたいという意見も多かった。これは、前回ワークショップの結果から変わっておらず、地図上に表現することでより具体性を帯びた提言として取りまとめることができたと言える。

ただ、話し合いの過程では、新地町の未来に対して生徒一人一人がどのように関わっているのかの意識が、やや希薄になっている様子もうかがえた。今回の成果をもとに、自分たちの提案を具現化させるための施策や活動について、自分たちがどのように関わっていくかを考える機会があれば、新地町のまちづくり政策等へのインプットだけでなく、主体的に自分たちの住むまちづくりに関わっていく人材育成にも繋がると考えられる。さらに、こうした取り組みを通じて、単なる夢物語ではなく、現実的な課題も踏まえた発展の方向性が議論できるといえる。

また、今回はワークショップの素材として、新地町復興応援隊、新地町企画振興課の協力で準備した写真を使用した。あらかじめ準備された写真があったからこそ発想が広がる（写真を見て思いつく）面もあったが、写真に発想が限定されてしまう（写真の範囲で考えてしまう）という懸念もあった。事情が許せば、生徒一人ひとりが撮影した（自分の想いを表現した）写真を使用したほうが、より自由に発想豊かな議論に繋がったのではないかと思われる。加えて、このようなワークショップは、本来であれば「まち歩き」なども取り入れ、丁寧に意見を掘り起こし対話を深めていくべきであるとの意見も、事後の打ち合わせでスタッフから出された。「総合学習の時間を使って」という時間の制約上、今回はこうした「まち歩き」を加えることはできなかったが、ワークショップで取り上げた「もの」や「こと」について参加者が共有するといった過程も必要であろう。

本ワークショップの結果の概要については、活動の紹介も兼ねて、2015年2月中旬に「速報かわら版」（付録4）として、ワークショップに参加した2年生の皆さんに配布した。このワークショップをきっかけとして、各家庭でも新地町の長期的な将来像について話し合い、まちづくりへの関心を高めていただきたいと考えたからである。このかわら版がどのように受け止められたかについては把握できていないが、新地町の住民が、未来への希望に満ちた中学生のフレッシュな意見に触れ、次世代に引き継ぐべき豊かなまちの将来像を思い描く手がかりとして活用していただけることを願っている。

昨年度及び今回のワークショップを通じた取り組みが、新地町ならびに新地町以外の自治体においても現在進められている復興事業の更なる進展と、その先にある豊かで持続可能な将来を実現する契機となれば幸甚である。

最後に、このワークショップの開催についてご理解とご協力をいただいた、新地町教育委員会、新地町立尚英中学校、新地町企画振興課の関係者のみなさん、そして積極的にワークショップに参加し、活発に意見交換をしていただいた中学生のみなさん一人ひとりに、心から感謝の意を表します。ありがとうございました。

12月10日(水)の ワークショップ授業の準備

12/10のワークショップ授業の準備のため、地図を見ながら

- ・「2050年に残っていてほしいもの・こと」2個
 - ・「2050年には新たに becoming (変わって) ほしいもの・こと」2個
- について意見を考えておいてください。

①先生から意見記入用のメモ用紙(右図)4枚をおわたします。

②休み時間などを利用して、地図を見ながら「2050年に残っていてほしいもの・こと」を2枚、「2050年には新たに becoming (変わって) ほしいもの・こと」を2枚、メモ用紙にまとめてください。このとき、写真の枠は空けておいてかまいません(写真のかわりにイラストを描いてもかまいません。)。ただし、どのような「もの・こと」についての意見なのか、きちんと枠に書いておきましょう。地図に写真が無いもの・ことについても、どんどん意見を書いてください。

※メモ用紙の写真の枠には、12/10当日に写真を貼ることもあります。

写真(絵をかいてもいいよ!) もの・こと: 2050年に <input type="checkbox"/> 残っていてほしい <input type="checkbox"/> 新たに becoming (変わって) ほしい どのように becoming (変わって) ほしいか書いてみよう	写真(絵をかいてもいいよ!) もの・こと: 2050年に <input type="checkbox"/> 残っていてほしい <input type="checkbox"/> 新たに becoming (変わって) ほしい どのように becoming (変わって) ほしいか書いてみよう
写真(絵をかいてもいいよ!) もの・こと: 2050年に <input type="checkbox"/> 残っていてほしい <input type="checkbox"/> 新たに becoming (変わって) ほしい どのように becoming (変わって) ほしいか書いてみよう	写真(絵をかいてもいいよ!) もの・こと: 2050年に <input type="checkbox"/> 残っていてほしい <input type="checkbox"/> 新たに becoming (変わって) ほしい どのように becoming (変わって) ほしいか書いてみよう

2年 組 グループ名

未来の新地町の
キャッチフレーズ

福島県相馬郡新地町



※この写真にならぬもの・不要なものもペンで意見を書いてみよう！

A

B


C

D

株式会社中庭測量コンサルタント

1 2 3 4

付録2 当日使用し、生徒各自に配布したスライド資料と各班に配布した新地町の白地図





「2050年の新地町の未来地図をつくろう！」

あなたが50才になったときの故郷の姿を
より具体的にイメージしよう！

(独)国立環境研究所
新地町復興応援隊(NPO法人みらいと)
(株)協和コンサルタンツ

2014年12月10日
新地町立尚英中学校2年生総合学習

今日のスケジュール


- 13:10-13:20 目的と作業の説明。1年生の時のワークショップのふりかえり。(10分)
- 13:20-13:35 グループ作業1(15分): 「2050年にも残しておきたいもの・こと」「2050年には新たにしておきたい(変わってほしい)もの・こと」について班のメンバーに説明しながら、白地図の当てはまる場所に置いていく。【1人2分ずつ】
- 13:35-13:50 グループ作業2(15分): 1年生の時のワークショップの結果や、班のほかの人の意見をふまえ、話し合いながら、白地図に意見を書いたメモやふせん紙をはって、2050年の新地町の具体的な姿をまとめていく。このとき、グループ作業1で意見が出ていなかったところについてもなるべく考え、話し合っていく。
- 13:50-14:00 休み時間(10分)。(ほかの班の様子も見てみよう)
- 14:00-14:10 グループ作業2の続き(10分)。
- 14:10-14:20 グループ作業3(10分): 話し合った内容をクラス全員に発表するための準備をする。できあがった未来地図全体をあらわすキャッチフレーズを決める。何を話さか？ だれが発表するか？ 感想を加えてもO。
- 14:20-14:40 グループ作業4(20分): メンバー全員が前へ出て発表。【各班4分ずつ】
- 14:40-14:50 司会から発表へのコメント、アンケート記入。(10分)



グループ作業での注意点

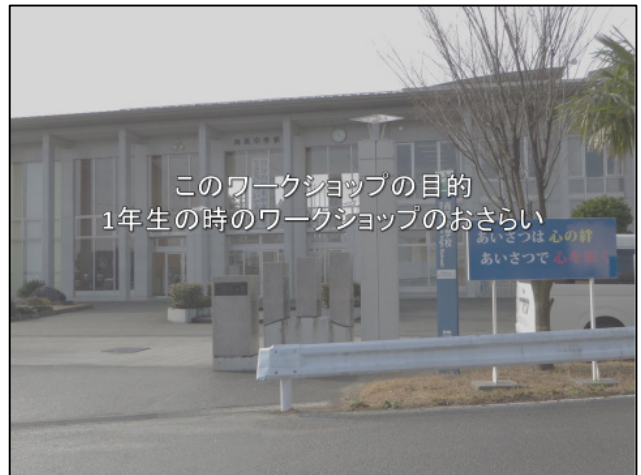
- 人の意見にダメ出ししない。
- 考えたことは、すべてふせん紙に書き出す。
- どうしても意見が対立してしまったときは、両方の意見を残しておく。

以上の点に注意して、積極的に意見を出しましょう。



本日のワークショップのサポート

	1組	2組	3組
クラス担任 (各班サポーター)	羽根田一弘	秋元裕美	武澤さやこ
環境研 (全体ファンリテーター)	高橋敬子	中村省吾	岩淵裕子
環境研 (各班サポーター)	森保文 五味馨	芦名秀一 戸川卓哉 永野亜紀	大場真 白木裕斗 小谷部 透
環境研(撮影)	有賀敬典	—	田邊千英
新地町復興応援隊 (NPO法人みらいと)	橋森公亮	東博之	—
協和コンサルタンツ	佐藤恭子	—	佐藤千尋
新地町役場	—	山本沙代子 (撮影)	—
		黒沢知子	


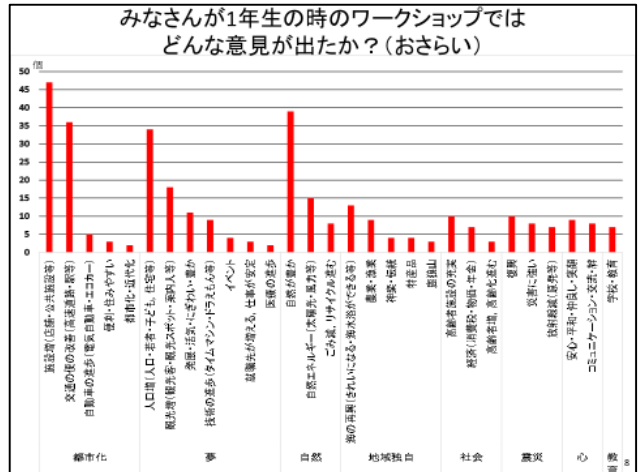


このワークショップの目的

- 1年生の時のワークショップ結果もふまえつつ、自分たちの住んでいるまちをさらによく知り、その未来について深く考え、話し合うことで、より具体的な2050年の新地町の姿について提案をまとめましょう。また、新地町の未来のまちづくりに自分たちも参加できることを学びましょう。
 - 新地町のどこがどんなふうになってほしいか？
 - 新地町のくらしや産業はどうなっているか？

【考えのヒント】

- 2050年に皆さんは50才をむかえます。そのときに、みなさんが今住んでいる新地町がどうあってほしいか、「残っていてほしいもの・こと」「新たにあってほしい(変わってほしい)もの・こと」を考えて意見を出して下さい。

グループ作業1
13:20-13:35

あいさつは心の絆
あいさつで心を繋ぐ

自己紹介
一人ひとりが準備してきたメモの説明
メモをあてはまる場所に置いていく

- 人の意見にダメ出ししない。
- 考えたことは、すべてふせん紙に書き出す。
- どうしても意見が対立してしまったときは、両方の意見を残しておく。

9

グループ作業2
13:35-14:10

※途中13:50-14:00:休み時間

あいさつは心の絆
あいさつで心を繋ぐ

2050年の新地町はどのようなまちになっている？
地図にくわしく描きこんでいこう！

- 人の意見にダメ出ししない。
- 考えたことは、すべてふせん紙に書き出す。
- どうしても意見が対立してしまったときは、両方の意見を残しておく。

10

グループ作業3
14:10-14:20

あいさつは心の絆
あいさつで心を繋ぐ

発表準備
新地町の未来地図全体を見わたして、
キャッチフレーズを考えよう！

- 人の意見にダメ出ししない。
- 考えたことは、すべてふせん紙に書き出す。
- どうしても意見が対立してしまったときは、両方の意見を残しておく。

11

グループ作業4
14:20-14:40

あいさつは心の絆
あいさつで心を繋ぐ

各グループからの発表
(1班4分ずつ)

12

本日のまとめ：
2050年の新地町がより身近になったでしょうか？

あいさつは心の絆
あいさつで心を繋ぐ

13

本日の成果のとりまとめ

- みなさんが提案してくれた2050年の新地町の姿は、新地町役場に提供して、2050年に向けたまちの復興や総合計画に役立てていただけます。
また、国立環境研究所で行う研究の基礎資料として活用していきます。
- 平成28年度には、福島県三春町に国立環境研究所福島支部を開設し、災害と環境に関する研究を進めます(現在は、準備室をつくばに設置し、研究を開始しています)。


AIM

14

おわりに

- アンケートを提出して下さい。
- さらにくわしい話を聞きたい人は、以下に連絡して下さい。
- nakamura.shogo@nies.go.jp
- 本日はありがとうございました。これからも、ご協力よろしく願っています。

(独)国立環境研究所
新地町復興応援隊(NPO法人みらいと)
(株)協和コンサルタンツ



15

2年 組 グループ名

未来の新地町の
キャッチフレーズ

福島県相馬郡新地町



株式会社中庭測量コンサルタント

縮尺1:5000 2023年10月現在 (国土地院院地籍部提供)
縮尺1:10000 2023年10月現在
相馬市地籍課提供

1 2 3 4

クラス全体ファシリテーターからのコメント

2年1組 高橋敬子

1組全体としては、各班それぞれに独自の視点をもって、内容をまとめて発表できていたように思う。また、グループでの話し合いの際にも、それぞれが主体的に取り組み、自分の意見をしっかりと主張できていた。グループでの発表準備時間が10分しかない中で、誰がどのような内容で発表するのか、また発表の役割分担はどのようにするのかについて、グループ内で話し合っただけで決めることができている班がほとんどで、1年生の時に比べ、それぞれが自分の役割を理解し、行動に移せるようになってきていることに成長を感じた。

グループ作業1で出てきた意見では、新地町にあるお店、鹿狼山、海岸、新地駅、お祭り等、元々ある場所やモノを残したい、さらにその場所やモノが発展してほしいという意見が多かった。グループ作業2では、グループ作業1で出てこなかった場所やモノに関する意見等を中心に、最初に配った写真をもとに意見を出してもらったのだが、どの班も模造紙が埋まるほどに、活発な意見が出せていたように思う。1組は、1班～3班までは男子、4、5班は女子のグループだったため、話し合いの内容や視点が男女の班で異なっているように感じた。男子のグループでは、こうなって欲しいという2050年への希望が多く、現状にない新しいものを作りたいというような意見が多かったが、女子の班では、「将来は観光客がたくさん来てほしい、そのためにはこうするべきだ」のように、夢を実現させるための方法まで踏み込んだ意見が出てきており、男子の班よりも現実味を帯びた意見が多かったように感じた。

今回の授業では、グループワークを通して①新地町のことについて知り、②より深くまちのことについて考える、③そして、①②を達成した上で、新地町の将来について考えて自分の意見を出してまとめる。という3つの点を授業の中で行ってほしいと生徒には説明した。授業の中では、「あんこ地蔵って、あんこを毎日塗るの？」等のように、知らないことに対する疑問が湧き、それに対して生徒同士で話をする場面も見られた。また、授業終了後に「新地町でも行ったことのない場所があったから、今度行ってみたい」という意見も聞かれた。この3点については、新地町の「場所」、「モノ」、「コト」という、より具体的な視点からまちについて考えてもらったおかげもあり、授業での話し合いを通して、ねらいとした点に関しては、達成できていたように思う。

今回の授業を通して、自分たちの住むまちについて興味を持ってもらう機会を提供することはできたように思う。生徒たちには、思い描く将来像を達成するために、今の自分たちに何ができるのかを考えてもらい、まちの将来について、より関心を持ってもらいたいと願っている。

2年2組 中村省吾

今回は、今年1月に開催したワークショップの続編として、地図を用いてより具体的な新地町の未来図を考えてもらうことを企図して事前の準備を行った。宿題としてお願いしていた4枚のメモほどの程度書いてきてもらえるか当初心配していたがまったくの杞憂で、グループ作業1のメモ紹介では各班ともかなりの盛り上がりを見せていた。尚英中学校は町内3地域から生徒が集まっているが、メモ紹介の際に自分の住んでいる地域の情報を教え合う光景が見られた。

各班から出されたキャッチフレーズには、「自然」「にぎわい」「近代的」といったキーワードが多く見られた。にぎわいのある新地町に向けて、大型スーパー等の施設だけではなく、豊かな自然も大切にしながら発展していきたいということで、新地町らしい環境と調和した未来をイメージしている印象を受け、大変心強く感じた。

ワークショップとしては大変タイトな進行であったが、各班ともサポーターの支援のもと、限られた時間の中で大変活発に作業に取り組んでいた。ただ、活発すぎたためかグループ作業3（キャッチフレーズ検討と発表準備）に十分な時間がとれず、可能であれば作業の前倒しを提案するなどの対応をとるべきであった。

また、写真入り地図（写真は復興応援隊の皆さんにご提供いただいた）はかなり活用されたようで、準備した側としても嬉しく思ったが、特に「残したいもの・こと」の選定にあたって地図の影響が大きかったように感じられ、生徒の皆さんに自由に発想してもらうにはどうすればよいのかを考えさせられた。

上記のような課題はありながらも、最終的に完成した地図はどれもが個性的で、各班の思いが反映された素晴らしい内容であった。時間が許すのであれば、今後これらの地図の内容を掘り下げたり、実際に現地を歩いてみたりすることで、住んでいる地域だけでなく新地町全体に対する理解を深めてもらえればと思う。

お忙しい中対応していただいた担任の秋本先生、学年主任の郡司先生をはじめ、サポーターのNIESスタッフ、復興応援隊、協和コンサルタンツの皆さまには心より感謝申し上げます。

本ワークショップが、生徒の皆さんが新地町のことを考えるきっかけになれば幸いに思う。

2年3組 岩淵裕子

昨年に続き、今年も生徒の皆さんはワークショップに対してとても協力的で、短時間にもかかわらず、新地町の未来像について活発に意見交換や対話を行い、立派に発表まで取りまとめたと思う。また、こちらから事前に地図と写真で提示した要素だけでなく、新たに新地町に加わって欲しいもの・ことについても、積極的に考えている様子が窺われた。事情が許せば、地図で取り上げる要素（写真）も、生徒一人ひとりが撮影した（自分の想いを表現した）写真を使用したほうが、より自由で発想豊かな議論に繋がったのではないかと思われる。

まとめた地図や発表の内容からは、生徒の皆さんはやはり新地町のことを熟知しており、馴染み深い施設・店舗や産物、自然、文化・伝統・祭事などの既存の有形無形資産への愛着を強く持っている印象を受けた。それらを他の地域の人々にも広く知ってもらいたいとの意識も強いようである。それだけに、震災で失われてしまった海岸部の施設や風景、祭りなどの復興を強く願う意見も多く出され、日々進む復興事業の行方への関心の高さが窺われた。また、震災時に役立った湧水が残っていてほしいなど、震災を経験した当事者ならではの意見も出され、自然の猛威に曝されると共に自然の恵みに助けられた経験の重さを感じさせられた。

その一方、町の都市化や発展への希望として、ショッピングモールやコンビニなどの店舗、新幹線やバスなどの交通機関、ゲームセンターや遊園地などの娯楽施設のように、便利な施設や人が集まる施設への強い願望や、観光振興による交流人口増加を望む声も多く出されていた。ただし、2050年という遠い将来の自分が望むこととして都市化・発展要素を考えているというよりは、今自分たちが新地町にあることを望む施設などを意見として出しているふしも窺える。遠い将来を考えることは大人でも難しい作業ではあるが、年齢の幅を飛び越えて将来を考えるきっかけづくりのワーク（現在の50歳の人にインタビューしてみる、大人と一緒に交流しながら進めていく仕掛けをつくるなど）を取り入れて、ステップを踏むことが必要かもしれないと感じた。

また、出された意見は大半が「こうあってほしい」という願望に止まり、「それを実現するにはどうしたら良いか」までに深く踏み込んだ議論にはならなかった印象がある。今回の成果を元に、提案を具現化させるための施策について更に検討する機会があれば、総合計画等へのインプットだけでなく、主体的に自分たちのまちづくりに関わっていく人財育成にも繋がるのではないかと考えられる。

昨年度のワークショップに加え、今回のワークショップも、あくまで自分たちのまちづくりを主体的に考えるきっかけをつくる入り口に過ぎない。それでも、このような機会を重ねていくことによって、将来は自分たちの手で創り上げていくものだという意識を少しでも醸成することができれば幸甚である。このワークショップを経験した中学生が、将来、主体的に行動し、地域を支える社会人になってほしいと願ってやまない。

付録3 当日最後に実施したアンケート票

「2050年の新地町の未来地図をつくろう！」ワークショップアンケート

本日の授業について、今後の参考にさせていただきたいので、以下の質問にお答えください。

1. 本日のワークショップに参加しての感想について、最も当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

とても面白かった	面白かった	どちらともいえない	あまり面白くなかった	全く面白くなかった
----------	-------	-----------	------------	-----------

1-----2-----3-----4-----5

2. 1月23日の新地町の将来像を考えるワークショップの後、あなたは、新地町の将来（2050年）について、どの程度考えていたでしょうか？あてはまる番号を選んで○をつけてください。

いつもよく考えていた	時々考えていた	たまには考えていた	ほとんど考えていなかった	全く考えていなかった
------------	---------	-----------	--------------	------------

1-----2-----3-----4-----5

3. 2. の質問で1、2、3番に○をつけた人にお聞きします。新地町の将来（2050年）について、どのようなことを考えていましたか？

[]

4. 本日の班での話し合いや、ほかの班の発表を聞いて、2050年に絶対実現してほしいと思ったことがあれば、書いてください。

[]

5. 本日のワークショップを通じて、新地町の将来を考えることについて印象に残ったことや、将来のために取り組んでみようと思ったことがあれば、自由に書いてください。

[]

ご協力ありがとうございました。

((独) 国立環境研究所 社会環境システム研究センター)

～新地町のゆるキャラ、未来で大活躍?!～

地図には入りきりませんでした、こんなキャラたちもワークショップを盛り上げてくれました!

「いちたん」と「いちじくん」は、中学校で募集した新地町のゆるキャラ提案コンテストで、多くの人気を集めたキャラ。このキャラたちが将来有名になって、「新地町の特産品である『いちじく』をPRし、全国的に有名にしてくれる」という未来を思い描いた班も、いくつかありました。

「新地町非公式ゆるキャラ」は、つくりびと知れずの非公式なゆるキャラ。「これはねえわ…」との不評にもめげず、「将来は、ふ〇っしーのライバルになってほしい」との意見も。ふ〇っしーのように有名になって、新地町を全国的に、いや、世界的に有名にしてくれたら、多くの人々が町を訪れてくれるでしょうね!!

このほか、先生特製のかくれキャラ(?)も登場しました。目指せ、ゆるキャラグランプリ2050?!



～みんなで考えた未来の新地のキャッチフレーズ～

- ◆新地町を変える!!
- ◆楽しくてきれいな新地町
- ◆～町から市へ～
- ◆STORY OF MY LIFE
- ◆伝統、文化、景観を守り、広める!
- ◆自然豊かで近代的な新地町
- ◆近代的で自然豊かな新地町
- ◆伝統行事と祭りで町を明るく元気に!!
- ◆豊か、自然、にぎわいのある新地町
- ◆にぎやかで楽しい町
- ◆FUTURE CITY
- ◆元気 明るい笑顔 自然 特産品
- ◆発展都市新地
- ◆自然と生きる新地町
- ◆YWC (Yes We Can!!)



～ワークショップでのひとコマ～



これは残ってほしいよね!残すためには、どうしたらいいだろう?新地に住む人を増やすには、働き口を増やすことが必要。それに、観光で外から訪れる人も増やしたいね!



写真一つひとつで面白ネタを探しまくる面々。誰がボケで、誰がツッコミなのか?ねえねえ、そのネタ、有名どころからのバクリじゃないの...???



写真がたくさん!ねえ、あのこと書きたいんだけど、写真どこにあるかな?みんなで手分けして、探して探して!...あ、こんなのもあった。これ、いいかも...♪

わたしたちが思い描いた新地町の未来マップ

新地町立尚英中学校第2学年 2014年12月10日(水) 5~6校時
「2050年の新地町の未来地図をつくろう！」ワークショップ開催報告 速報版

これは、新地町立尚英中学校、新地町役場企画振興課、ふくしま復興応援隊(NPO法人みらいと)、(独)国立環境研究所・社会環境システム研究センターの協力で開催したワークショップの成果をまとめたレポートです。

ワークショップでは、新地町立尚英中学校2年生のみなさん全員で、地図や写真をもとに自分たちの住んでいるまちをよく知り、その未来について深く考え、話し合いました。そして、具体的な2050年の新地町の姿について、町への提言を未来地図とキャッチフレーズとしてまとめました。みなさんは、地図が埋めつくされるほどのたくさんの意見を出してくれました!



2050年の新地町に残ってほしいもの・こと、新たになってほしいもの・こと

高齢者が増えるので、台数を増やして、利用しやすくする。運転手も必要だね。ヘリコプターなども導入できないかな？



目標人口1万人！働くところを増やそう！まちの自然や特産物、観光地を活かして、新地でたくさんの方が働けるようにしましょう！



やっぱり、伝統の神楽は残ってないと！もっと広めて、たくさんの人に見に来てくれるといいな。



みんなの憩いの場であってほしい。きれいで色々なチューリップを見られる。

本の種類を増やして、読書スペースも増やしてほしい。みんなたくさん利用しよう！



とにかくうまい！飲食店が少ないから、回転ずしなど、もっとほかにも増やしてほしいな。丸久精肉店も再オープンしてほしい。



美味しいたこ焼きをいつまでも食べたい。全国チェーンにしたい。



55周年記念！そうま・ジャパンをつくろう！たくさんの方が遊びに来てくれるよ。どこにつくろうか？海を埋め立ててつくろうか？



遊覧船をつくってみたいかもね！

緑にあふれていて、自然が豊かなゾーン



観光客が楽しめるバスツアーなどもつくれるといいね。



湧き水は震災の時に助けられたから、残ってほしいな。



りんご、いちじく、にら、トマトは美味しいから、たくさんの人に食べてほしい。

全国で有名な名産品になったらいいな！そのためには農家を増やす必要もあるね。

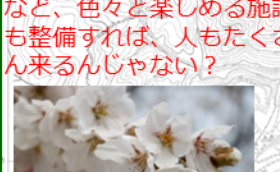
ネットなどを利用して、特産物を広めていこう！



鹿狼山

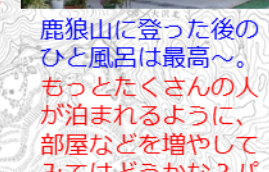
お菓子などにできないかな？

鹿狼山は新地の誇り！自然を守りながらも、たくさんの方が訪れる観光名所になってほしいな。アスレチックやキャンプ場など、色々楽しめる施設も整備すれば、人もたくさん来るんじゃない？



ともきれいだから、残してほしい。

鹿狼山に登った後のひと風呂は最高～。もっとたくさんの方が泊まれるように、部屋などを増やしてみたらどうかな？パンフレットやスタンプもつくろうよ！

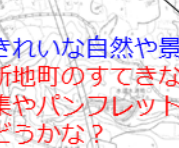


※これらは、すべて尚英中2年生のみなさんが提案してくれた意見をまとめたものです。

パンが好き！美味しいから残ってほしい。



歩いて行けるところに大学がほしい。



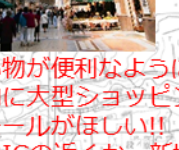
きれいな自然や景観を守ろう！新地町のすてきな景観を、写真集やパンフレットにまとめたらどうかな？



鹿狼山の湯



鹿狼山に登った後のひと風呂は最高～。もっとたくさんの方が泊まれるように、部屋などを増やしてみたらどうかな？パンフレットやスタンプもつくろうよ！

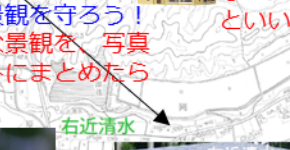


買い物が便利に、町内に大型ショッピングモールがほしい！！新地ICの近くか、新地駅のそばがいいかな？大きな本屋、スポーツ用品店もほしいな。ボウリング場や、ゲームセンターもほしいよ。

観光客向けのホテルや、たくさんの方が住めるマンションなどがあるといい。龍昌寺



尚英中の伝統。残してほしい！福田、新地、駒ヶ嶺の出身小学校や、尚英中も残ってほしい。



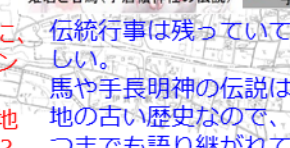
いつまでも新地を見守ってほしい。



パークゴルフは、クンギョウは、お年寄りに人気！



伝行事は残ってほしい。馬や手長明神の伝説は新地の古い歴史なので、いつまでも語り継がれてほしい。アニメや絵本などにして、たくさんの人に広めるのはどうだろうか？



もっと長生きして、観光名所になってほしい。

みんなお馴染みのかるがんは、もっと大きくなってお客がたくさん来るようになってほしい。



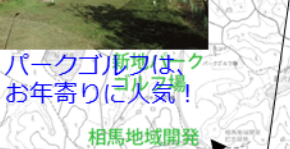
人がたくさん集まる中心部になってほしい！



あぐりや、フレスコキクチは、店をもっと大きくして、新地の特産品をたくさん売ってほしい。



まちの大切な病院。遠くからも人が来てほしい。医師や看護師など、働き手の確保も必要だね。

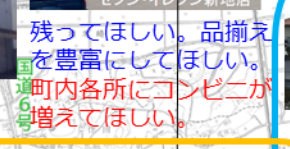


おじいちゃんの家も残ってほしい。



目指せ世界遺産登録。遊具をもっと増やしてほしい。

残してほしい。品揃えを豊富にしてほしい。町内各所にコンビニを増やしてほしい。



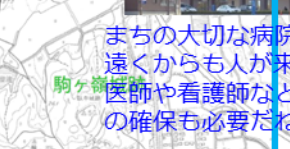
新地の伝統的な建物。震災前のように復元してほしい。



あぐりや、フレスコキクチは、店をもっと大きくして、新地の特産品をたくさん売ってほしい。



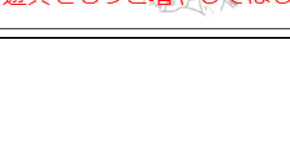
みんなが気軽に遊べる公園を町内各所につくってほしい。スポーツを楽しむ設備を充実させてほしい。スポーツ大会も開きたい。屋内プールもほしい。



大人も子どもも楽しめるような活気あふれる場所であってほしい。お祭りなどのイベントも開いてみては？



夜になると暗くて怖いし、危ないから、町内の色々なところに街灯がほしい。そうすれば、帰りが遅くなっても安心。



新しく作り直して、たくさんの方が利用してほしい。常磐新幹線が通ってほしい。バスなども便利になってほしい。



釣師浜海水浴場



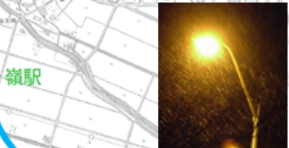
震災前のように、夏にはたくさんの方が思いっきり泳いで楽しめる海水浴場に復興してほしい！



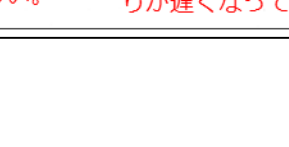
漁港が復興して、新地のかれいをみんなに食べてほしい！新地の食材で美味しい料理を出すレストランもほしいね。料理本も出したいね！



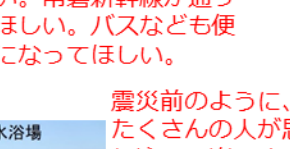
進撃のかれい(?)



震災前のように、にぎやかで盛大なお祭り(遊海新地など)をいっぱい開いて、たくさんの方に花火を見てほしい。送り火などをもっと盛大にしてほしい。



また釣りが楽しめるようになってほしい。



動物園がほしい。



わくわくランド



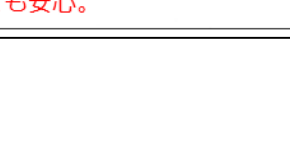
大人も子どもも楽しめるような活気あふれる場所であってほしい。お祭りなどのイベントも開いてみては？



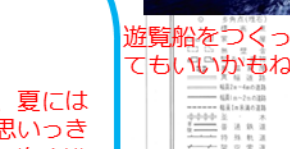
相馬共同火力新地発電所



夜になると暗くて怖いし、危ないから、町内の色々なところに街灯がほしい。そうすれば、帰りが遅くなっても安心。



新地海釣り公園



新地海釣り公園



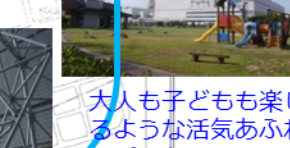
新地海釣り公園



新地海釣り公園



新地海釣り公園



新地海釣り公園



青字：残ってほしいもの・こと
赤字：新たになってほしいもの・こと